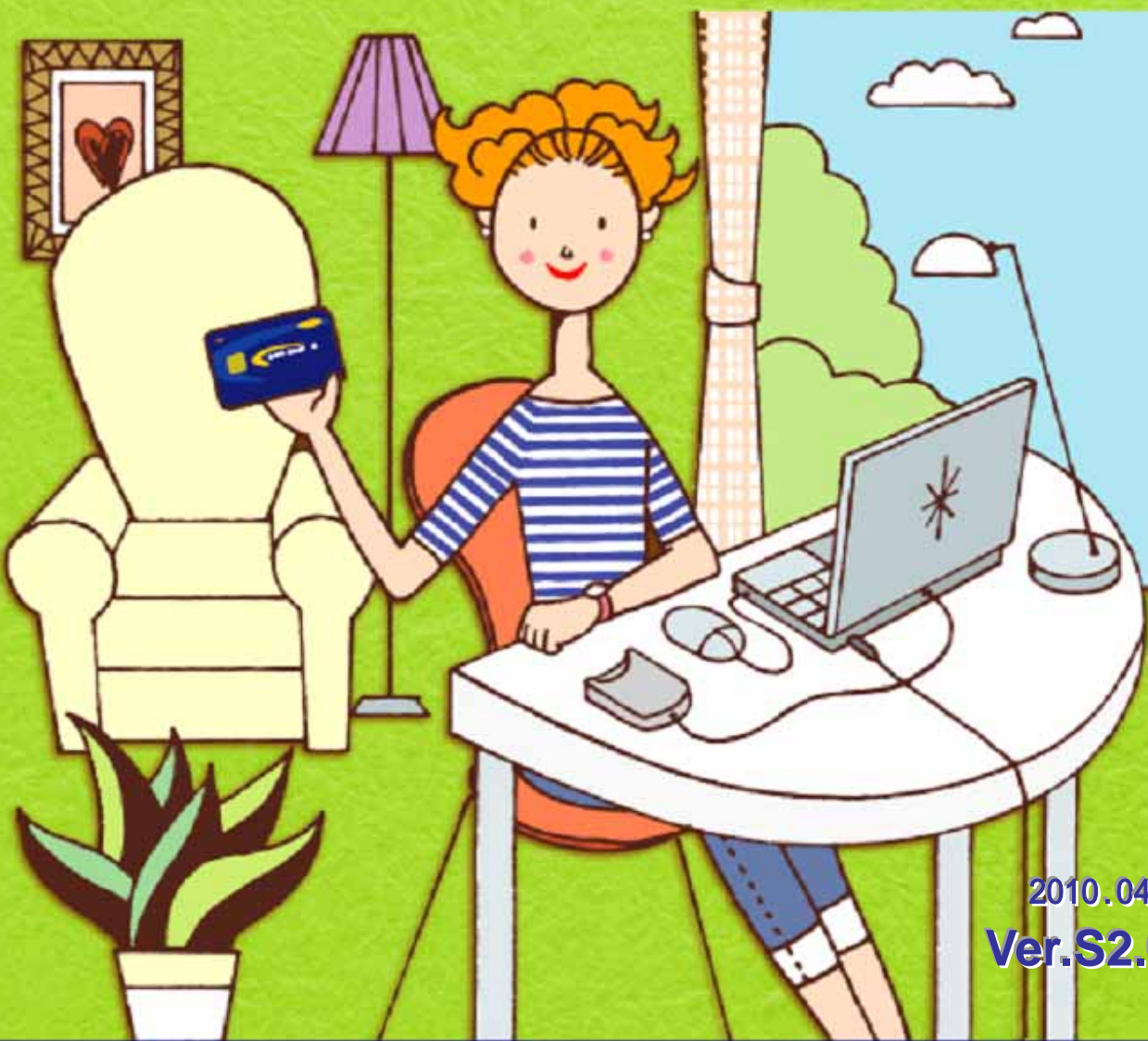


SAFETYPASS

ICカード認証

サービス利用ソフト for PC

ユーザーズマニュアル



2010.04 版
Ver.S2.002



NTTコミュニケーションズ
www.ntt.com

注意事項

NTT コミュニケーションズ株式会社は、ご利用者、または第三者が本 CD-ROM に収録されている IC カード認証サービス利用ソフト for PC(以下、「本ソフト」と言います)の使用に関し被った損害に対し、一切の責任を負いません。

ご利用者は、本ソフトをセーフティパスを利用する目的にのみ使用できます。また、ご利用者は、本ソフトに関連して知り得たノウハウ、アイデア、その他の情報を無断で第三者に漏洩すること、商用で使用すること、及びセーフティパスを利用する目的以外で使用することは出来ません。

ご利用者は、本ソフトを、単一のコンピューターで使用するものとします。

ご利用者は、いかなる場合においても第三者に対して、本ソフトを配布すること、及び使用させることはできません。

ご利用者は、本ソフトを、修正、翻訳、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、またはその派生製品を製作することはできません。

本ソフトは、「外国為替及び外国貿易法」が定める規制対象技術に該当いたします。本ソフトを本邦の非居住者が使用する場合には、同法に基づく役務取引許可等が必要です。

本 CD-ROM 内に収録されている各社のソフトについては、それぞれのソフトの使用許諾契約に基づいてご利用願います。

警告

このディスクは「CD-ROM」です。一般オーディオ用 CD プレーヤーでは絶対に再生しないでください。大音響によって耳に傷害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。

記載事項は 2010 年 04 月現在のものです。

NTT コミュニケーションズは、ご利用者または第三者がこの CD-ROM からインストールされたソフト及び、NTT コミュニケーションズ提供の推奨 IC カードリーダーの使用に関し被った損害に対し、一切の責任を負いません。詳細については、『セーフティパス会員規約』をお読みください。

Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

Pentium は、インテルコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

Windows, Smart Card Base Components, Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Netscape Navigator は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。

その他、本 CD-ROM 内に収録したソフト、パッケージ及び添付物に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。



目次

1. お使いになる前に
2. ICカード認証サービス利用ソフト for PC のインストール
3. 接続の前に
4. セーフティパスへの接続
5. ICカード認証サービス接続設定の使い方
6. メンテナンス
7. お困りのときには



1. お使いになる前に

1.1 本 CD-ROM の内容	1 - 1
1.2 動作環境	1 - 2



1.1 CD-ROM の内容

NTT コミュニケーションズの USB 版 IC カードリーダーのパソコンへの最初の接続は「4.セーフティパスへの接続」の手順に従って行ってください。(2 回目以降の着脱は自由です。)

- IC カード認証サービス利用ソフト for PC Ver.S2.002
- NTT コミュニケーションズの IC カードリーダー用ドライバソフト
- IC カード認証サービス利用ソフト for PC ユーザーズマニュアル(PDF ファイル)
本マニュアルのことです。



1.2 動作環境

IC カード認証サービス利用ソフト for PC(Ver.S2.002)は、以下の環境でご利用いただけます。

必要環境	条件
対象機種	AT 互換機 ※ソフトのインストールを行うために、CD-ROMドライブが必要です。 ※NTT コミュニケーションズの USB 版 IC カードリーダーを使用される場合は、USB ポートの空きが必要です。
必要なスペック	Windows 2000/XP の場合は次のスペックが必要です。 (CPU:Pentium2 プロセッサ 300MHz 以上、メモリ:128MB 以上) Windows Vista/7 の場合は Microsoft の推奨する Windows Vista/7 のシステム要件に準じます(例 Vista Home Basic の場合、CPU:1GHz 以上、メモリ:512MB 以上)
対象 OS	Windows 2000 Professional、XP Home Edition、Professional、Vista(x86)(32ビット版)、Windows7(x86)(32ビット版) ※日本語 OS が対象となります。本バージョンは、Windows95/NT/98/98SE/Me ではご利用になれません。また、Windows XP Professional x64 Edition ではご利用できません。 ※Windows XP から Vista へもしくは Vista から Windows7 のアップグレードインストールを行うには、IC カード認証サービス利用ソフト for PC がある場合は、一旦 XP もしくは Vista 上で IC カードリーダードライバソフトおよび IC カード認証サービス利用ソフト for PC をアンインストールし、Vista もしくは Windows7 にアップグレード後に IC カード認証サービス利用ソフト for PC(S2.002)をインストールしてください。
IC カードリーダー	NTT コミュニケーションズの USB 版 IC カードリーダー(SCR331/331DI/3310-NTTCom USB SmartCard Reader)、PC カード版 IC カードリーダー(SCR243) をご使用ください。(*注 1)
ネットワーク	インターネットに接続できる環境(*注 2)
WWW ブラウザ	Internet Explorer6.0/7.0/8.0、Netscape Navigator7.1 ※日本語のブラウザのみでご利用いただけます。 ※一部、特殊なブラウザには対応していません。(AOL 専用ブラウザでは動作いたしません。) ※対応ブラウザでも、AOL 接続ソフトで接続した場合はご利用できません。

(*注 1) 一般的な PC/SC 対応の IC カードリーダーもご使用いただけます。この場合は当該メーカー提供のドライバソフトをインストールしてください。

(*注 2) プロキシ・ネットワーク切替ソフトをお使いの場合、プロキシ・ネットワーク切替ソフトの設定変更が必要となる場合があります。



Memo

IC カード認証サービス利用ソフト for PC は、各社のファイアウォールソフト製品やウイルス検出ソフト製品などと併用することができますが、一部のファイアウォール製品において軽微な設定変更が必要になる場合があります。



2. IC カード認証サービス利用ソフト for PC の インストール

- 2.1 インストール手順2 - 1
- 2.2 インストール完了後の状態を確認する2 - 4



2.1 インストール手順

NTTコミュニケーションズのUSB版ICカードリーダーのパソコンへの最初の接続は「4.セーフティパスへの接続」の手順に従って行ってください。(2回目以降の着脱は自由です。)

CD-ROM(もしくはダウンロードしたインストールファイル)では、NTTコミュニケーションズ提供の推奨ICカードリーダーのドライバソフトおよびICカード認証サービス利用ソフト for PC をインストールできます。

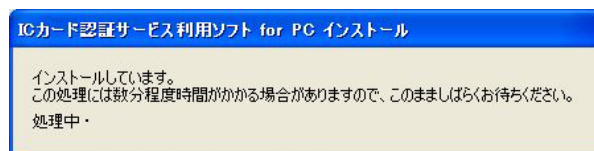
インストールを実行するにはコンピュータの管理者権限が必要になります。コンピュータの管理者権限を持つアカウントでログオンしてから、インストールを始めてください。

パソコンを起動してインストールを開始すると、下の開始画面が自動的に表示されます。ユーザアカウント制御 (UAC) 画面が表示された場合は [続行] をクリックしてください。インストールが開始しない場合は、CD-ROM もしくはインストールファイルを解凍したファイルのルートディレクトリにある Setup.exe を直接起動してください。

[実行] ボタンを押し、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

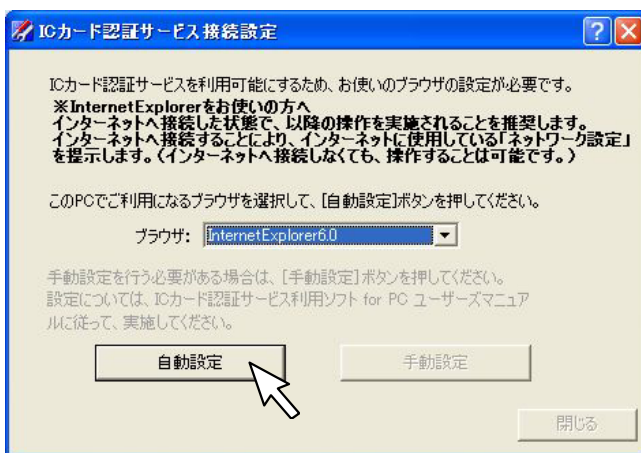


インストールには時間がかかることがあります。右の画面が表示している間はしばらくお待ちください。



インストールの途中で、下記の IC カード認証サービス接続設定画面が表示されたら、セーフティパスでご利用になるブラウザをリストから選択して[自動設定]ボタンを押してください。

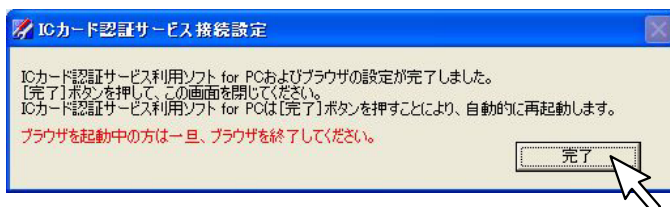
Internet Explorer をご利用の場合、インターネットへ接続して[自動設定]ボタンを押すことをお勧めします。



注意

インストール時にICカード認証サービス接続設定を実行する場合は、[手動設定]を選択することはできません。
ICカード認証サービス接続設定を完了しないと、セーフティパスには接続できません。[×]ボタンを押して、終了しないでください。

IC カード認証サービス利用ソフト for PC およびブラウザへの接続設定が完了しました。[完了]ボタンを押して画面を閉じてください。



画面を閉じた後に、パソコンの再起動を行ってください。

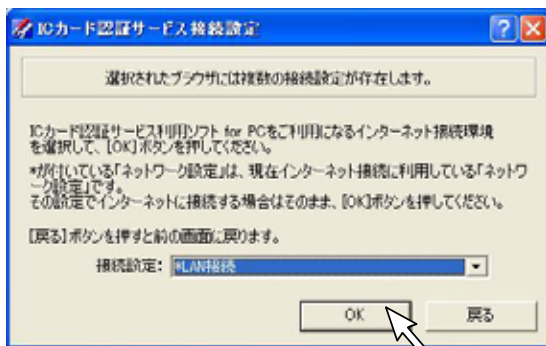
この画面が表示された方は、これでインストール完了です。P.2-4 以降をご覧ください。

注意

ICカード認証サービス接続設定が完了すると、Internet Explorerでは、そのインターネットオプションの接続の設定にある「自動構成スクリプトを使用する」にチェックが入ることがあります。このチェックは問題ありませんので、チェックを外さずにご利用ください。

ご利用のパソコンの設定やインターネット接続形態によっては前ページの設定完了画面が表示される前に、次頁の A～B いずれかの画面が表示される場合があります。その際は該当箇所を参照の上、操作を行ってください。

A Internet Explorer をご利用の場合、パソコンに複数のネットワーク設定 (LAN 接続、モデム接続など) が行われている時、接続設定選択画面が表示されます。セーフティパスの接続でご利用になる接続設定をリストから選択して [OK] ボタンを押してください。



接続設定のリストのうち、左側に「*」がついている設定は現在インターネット接続に利用している「ネットワーク設定」です。「*」がついている設定を選択して、[OK] ボタンを押してください。

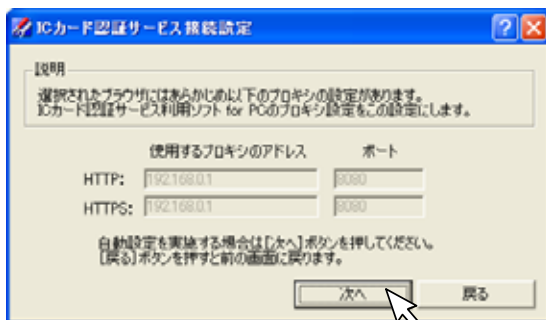
「*」がついている設定がない場合は、普段インターネット接続に利用している接続プロファイルを選択してください。

注 意 【NTT東日本・西日本提供「フレッツ接続ツール」(アイコン) を普通のインターネット接続に使用している方】

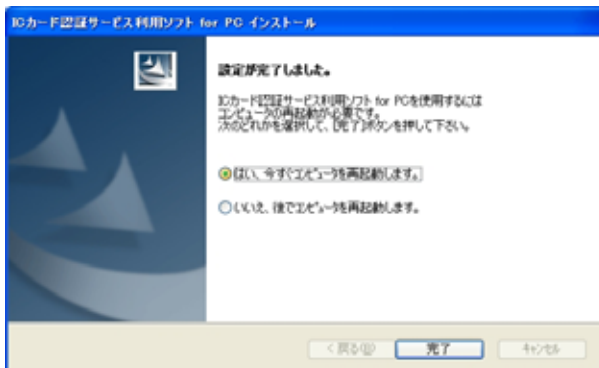
選択項目の中の1つに、お客様が「フレッツ接続ツール」で作成した接続プロファイル (インターネットに接続する際のアイコン) の名前が表示された方 (インターネットの接続にこのアイコンを常に利用している方) は、「LAN接続」ではなく、このプロファイルを選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。選択項目の中に、このプロファイル (アイコン名) がない方 (もしくは仮にアイコン名が表示されても「フレッツ接続ツール」をインターネット接続時に利用していない方) は、「LAN接続」を選択してください。

「フレッツ・スクウェア接続」は、選択しないでください (一般のインターネット接続ができません)。

B プロキシサーバを利用されている方は、画面には現在ご利用のブラウザの設定情報が表示されます。表示されているプロキシ設定を **IC カード認証サービス利用ソフト for PC** のプロキシ設定にします。内容を確認し、問題がなければ [次へ] ボタンを押してください。



以下の画面が表示されたら、インストール完了です。パソコンを再起動してください。





2.2 インストール完了後の状態を確認する


IC カード認証サービス利用ソフト for PC のインストールを完了した後、アイコンやメニューが登録されていることを確認してください。各部の機能を説明します。




タスクトレイのアイコン

IC カード認証サービス利用ソフト for PC のインストールを完了した後、セキュア通信状態を示すアイコンがタスクトレイに登録されていることを確認してください。



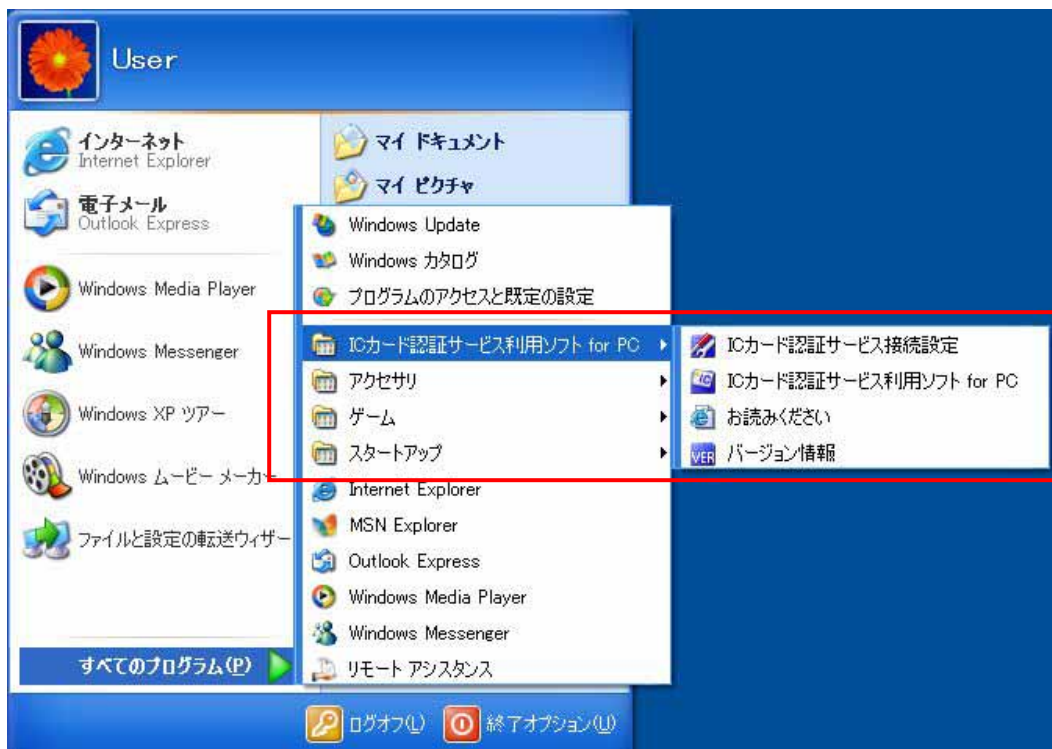
インストール直後は、セキュア通信状態でないことを示す×印のついたアイコンが表示されます。

セーフティパスに接続する場合には、タスクトレイのアイコンが上のように赤い×印であることを確認してください。アイコンが  の場合(灰色の背景に IC の文字が入ったアイコンの場合)は、セキュア通信機能が停止しています。各アイコンの示す内容は、以下の通りです。

アイコン	状態
	セキュア通信機能 ON・非セキュア通信中
	セキュア通信中
	セキュア通信機能 OFF

スタートメニュー

スタートメニューのプログラムメニューに、IC カード認証サービス利用ソフト for PC が追加されます。





3. 接続の前に

3.1 IC カードとパスワードの確認3-1

3.2 Cookie の設定3-2

3.3 インターネットオプションの設定3-4



3.1 IC カードとパスワードの確認

NTT コミュニケーションズカードを IC カードリーダーにセットして、接続の準備をしてください。

NTT コミュニケーションズの USB 版 IC カードリーダーでは、パソコンを起動した状態では、ランプが点灯し、IC カードをセットした状態で点滅に変わります。(IC カードをセットして数秒点滅した後、点灯の状態に変わります。セキュア通信中に IC カードにアクセスしている時にも点滅します。)

セーフティパスへの接続には、パスワード入力が必要となります。お客様の IC カードに対応したパスワードをご確認ください。

Help

NTT コミュニケーションズの USB 版 IC カードリーダーに IC カードをセットした状態でランプが点滅していない場合には、IC カードリーダーがパソコンに正しく接続されていることを確認してください。

接続後も NTT コミュニケーションズの USB 版 IC カードリーダーのランプが点滅しない場合には、IC カードリーダーのドライバソフトが正しく動作していない場合があります。デスクトップの[マイコンピュータ]をダブルクリックし、次に[コントロールパネル]をダブルクリックします。コントロールパネルの内容が表示されるので、その中にある[システム]をダブルクリックします。表示されたウィンドウで[デバイスマネージャ]タブをクリックして、IC カードリーダー (SCR331/3310-NTTCom USB SmartCard Reader)が下図のように表示されていることを確認してください。



* 上図の[USB SmartCard Reader]は、[External SmartCardReader]と表示される場合があります。

([システム]をダブルクリックして表示されたウィンドウで[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]タブを押してください。デバイスマネージャの「スマートカード読み取り装置」の下に「SCR331/3310- NTTCom USB SmartCard Reader」が表示されていることを確認してください。)

先頭に黄色い「！」マークが表示されている場合、IC カードリーダーのドライバソフトが正しく動作していません。「7.お困りのときには」で原因と対策について説明しています。ご確認ください。

Memo

『初期パスワード等のご案内』に記載されている初期パスワードは、セーフティパスのお客様向けホームページ(セーフティパス・マイポータル <http://www.com-id.com/>)で変更することができます。変更後は忘れることのないように管理してください。(パスワードは誕生日や電話番号など予測しやすいものは避けて、数字や英文字の大文字/小文字を混ぜて設定することを推奨します。)



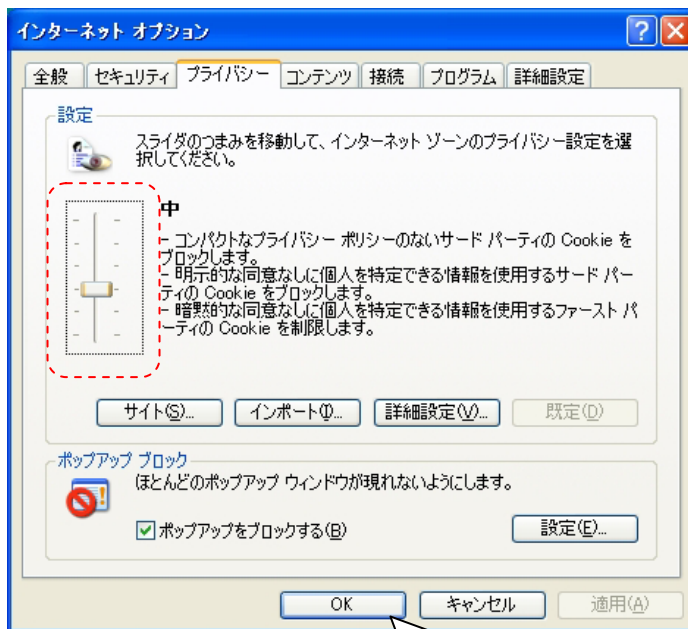
3.2 Cookie の設定

セーフティパスでは、インターネット上で安全なセキュア通信を確保しながら多様なサービスを提供していくために、接続の都度、そのセッション管理にブラウザの Cookie 機能を利用します。この場合、ブラウザの Cookie は接続の都度サーバより暗号化されたランダムな管理番号の送受に用いられるだけで、個人情報などの意味のある情報を一切含みませんので、セキュリティ上の問題は生じません。

- ブラウザの Cookie 機能を有効にしている場合(通常の設定です)
そのままご利用頂けます。
- ブラウザの Cookie 機能を停止している場合
セーフティパスへのセキュア通信確立時には Cookie 機能が ON となるような設定をしてください。

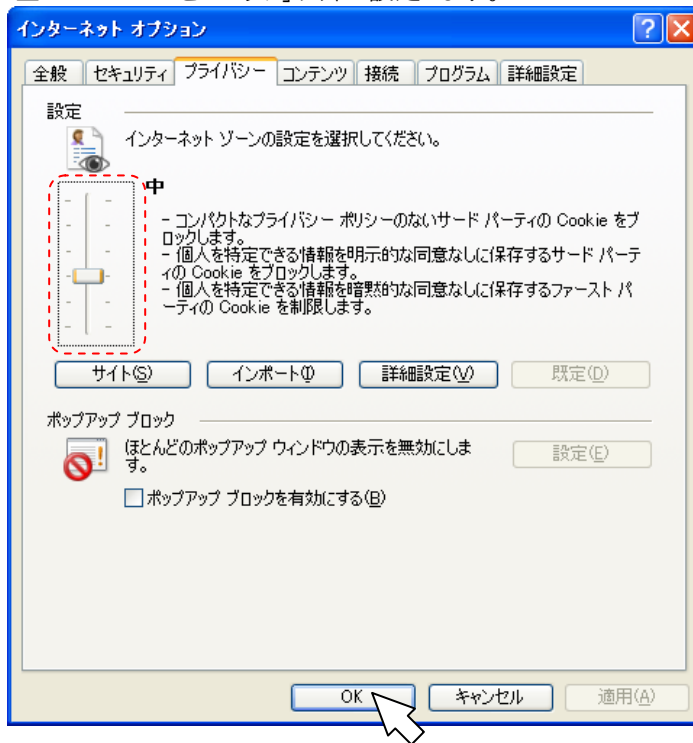
① Internet Explorer 6.0 をご利用の場合

Internet Explorer のメニュー[ツール(O)]→[インターネットオプション(T)]→「プライバシー」を選択し、スライダーで「全ての Cookie をブロック」以外に設定します。



② Internet Explorer 7 をご利用の場合

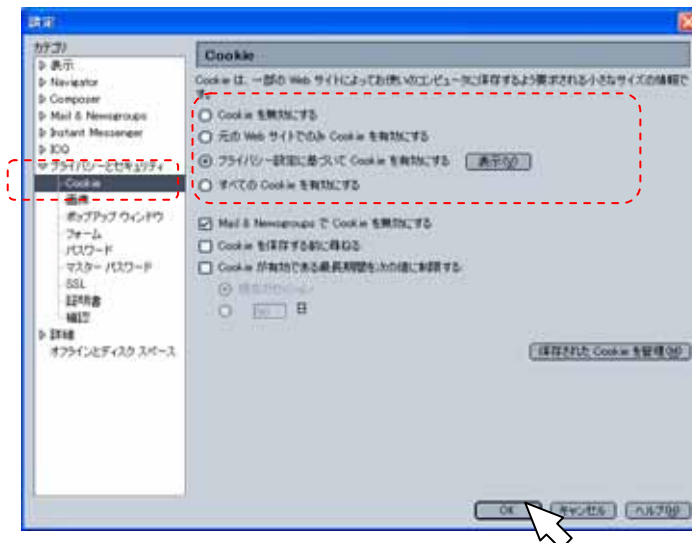
Internet Explorer のメニュー[ツール(O)]→[インターネットオプション(T)]→「プライバシー」を選択し、スライダで「全ての Cookie をブロック」以外に設定します。



③ Netscape Navigator 7.1 をご利用の場合

Netscape Navigator のメニューから[編集(E)]→[設定(E)]を選択します。

設定画面のカテゴリ[プライバシーとセキュリティ]→[Cookie]を選択し、[Cookie を無効にする]以外をチェックします。





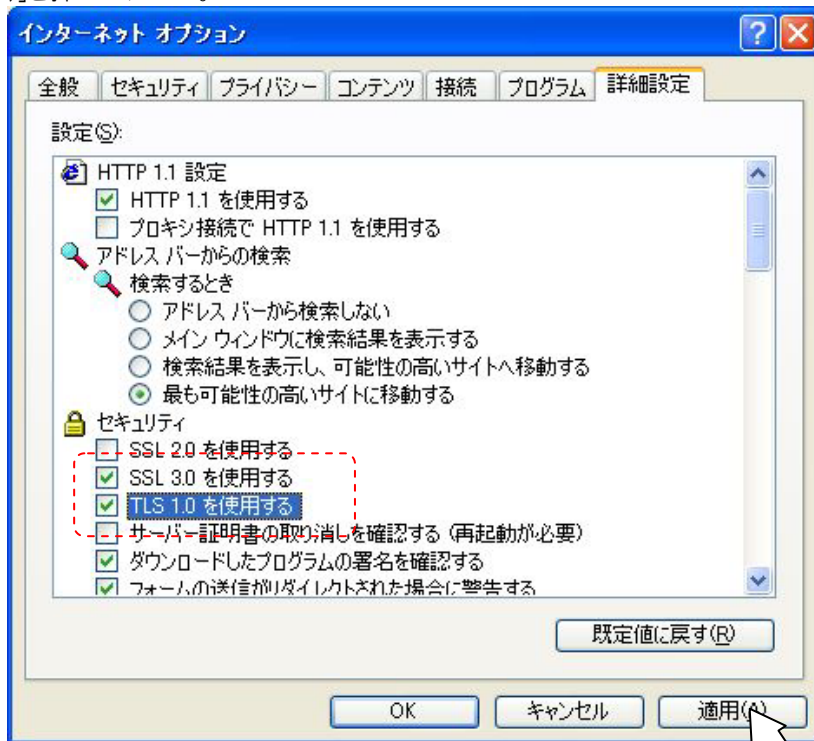
3.3 インターネットオプションの設定

IC カード認証サービス利用ソフト for PC では、インターネット上で安全なセキュア通信を実現する際に、Internet Explorer のセキュリティに関する設定を参照します。Internet Explorer の設定をご確認の上、SSL 3.0 もしくは TLS 1.0 が使用されていることをご確認ください。

※ Internet Explorer 以外のブラウザをご利用になる場合でも、以下の設定は必要となります。

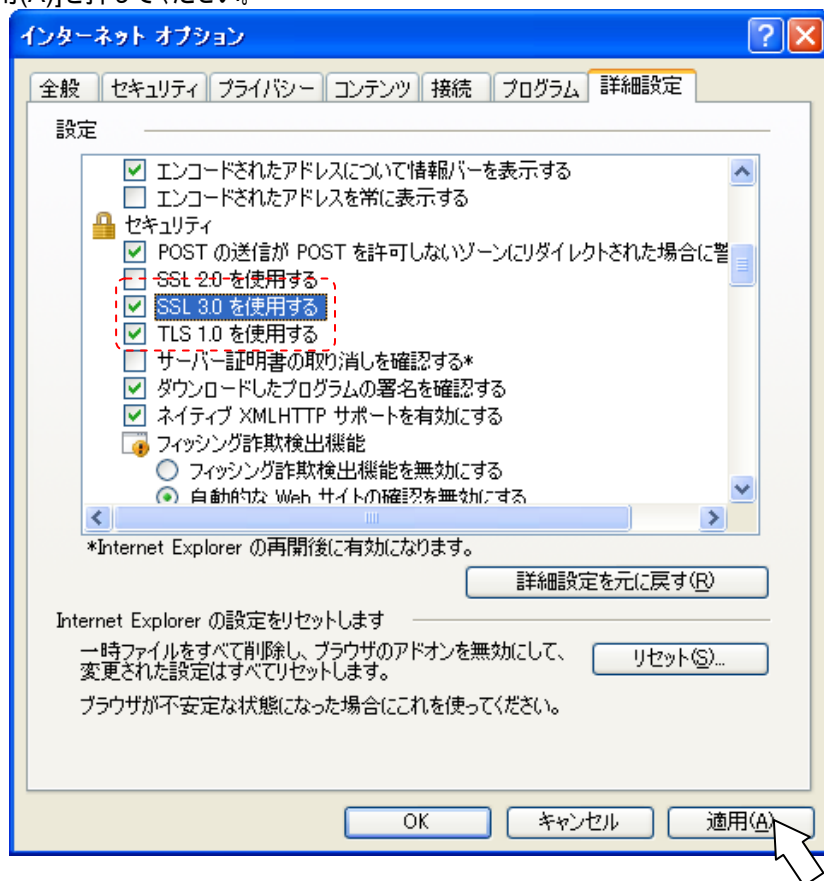
① Internet Explorer 6.0 をご利用の場合

Internet Explorer のメニュー[ツール(O)]→[インターネットオプション(T)]→[詳細設定]を選択し、[セキュリティ]内の[SSL 3.0 を使用する]または[TLS 1.0 を使用する]のチェックを入れた後、[適用(A)]を押してください。



② Internet Explorer 7.0 をご利用の場合

Internet Explorer のメニュー[ツール(O)] [インターネットオプション(T)] [詳細設定]を選択し、[セキュリティ]内の[SSL 3.0 を使用する]または[TLS 1.0 を使用する]のチェックを入れた後、[適用(A)]を押してください。





4. セーフティパスへの接続

4.1 セキュア通信の開始	4-1
4.2 セキュア通信状態の確認	4-3
4.3 セキュア通信の終了	4-4
4.3.1 セキュア通信の終了操作	4-4
4.3.2 セキュア通信の自動終了について	4-5



4.1 セキュア通信の開始

セーフティパスでは、暗号化技術を使ったセキュリティの高い通信サービスをご提供します。セキュア通信を開始する場合は、ICカードと、お客様のパスワードをご確認の上、次の手順で操作してください。

- ① ICカードリーダーをパソコンに接続し、パソコンの電源を入れます。NTTコミュニケーションズカードをICカードリーダーにセットしてください。
 - NTTコミュニケーションズのUSB版ICカードリーダーでは、ランプがパソコンを起動した状態で点灯、ICカードをセットした状態で点滅に変わります。(ICカードをセットして数秒点滅した後、点灯の状態に変わります。セキュア通信中にICカードにアクセスしている時にも点滅します。)
- ② インターネットに接続できることを確認します。
- ③ セーフティパスへの接続状態を確認します。タスクトレイに赤い×印のアイコンが表示されていることを確認します。

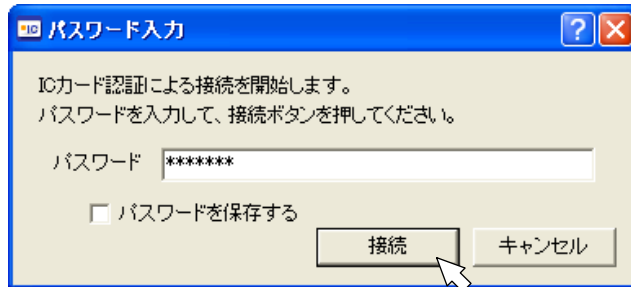


- ④ デスクトップの[セーフティパスへの接続]のアイコンをダブルクリックします。またはご利用のブラウザでセーフティパスを提供している Web サイトへ直接アクセスしてください。

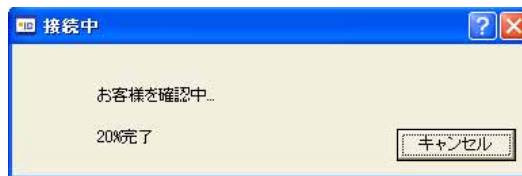


- ⑤ パスワード入力画面が表示されます。IC カードに対応したパスワードを入力して、[接続]ボタンを押してください。（パスワードの入力では、大文字・小文字にご注意ください。入力された文字は安全のため*で表示されます。）

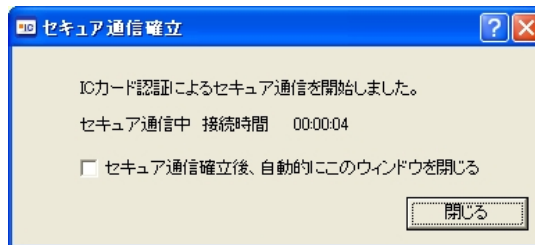
[パスワードを保存する]をチェックした状態で接続し、お客様の確認が完了すると、次回以降の接続ではパスワードの入力を省略して、[接続]ボタンを押すだけで認証を行います。



- ⑥ IC カードの情報とパスワードで、お客様を確認していますので、しばらくお待ちください。（[キャンセル]ボタンを押すと、セーフティパスへの接続が中止されます。）



- ⑦ お客様の確認が完了すると、セキュア通信を確立したことを示す画面が表示されます。同時に、タスクトレイのアイコンがセキュア通信状態の表示に変わります。



Memo

セキュア通信の確立画面の[セキュア通信確立後、自動的にこのウィンドウを閉じる]にチェックをしておくと、数秒表示された後に自動的にウィンドウを閉じます。



Help

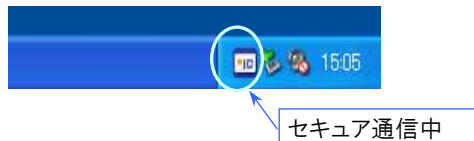
エラー画面が表示されてセキュア通信の確立に失敗した場合には、エラー内容を確認して、少し時間をおいて、接続操作からやり直してください。表示エラーと対処については、「7. お困りのときには」で確認してください。



4.2 セキュア通信状態の確認

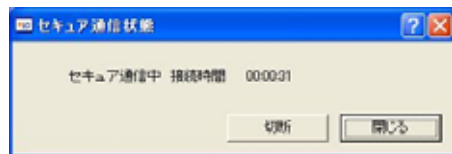
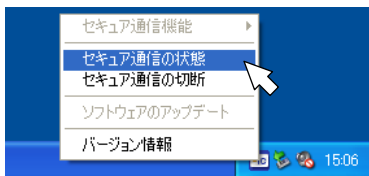
タスクトレイのアイコンで、接続状態を確認する

セキュア通信中であるかどうかは、タスクトレイにある IC マークのアイコン状態で確認できます。



セキュア通信状態の表示画面で、接続状態を確認する

タスクトレイのアイコンを右クリックして、表示されたメニューの[セキュア通信状態]をクリックすることによってセキュア通信状態画面が表示されます。



Memo

セキュア通信中と表示されている場合でも、お客様がセーフティパス以外に接続した場合は、セキュア通信を保証するものではありません。



4.3 セキュア通信の終了

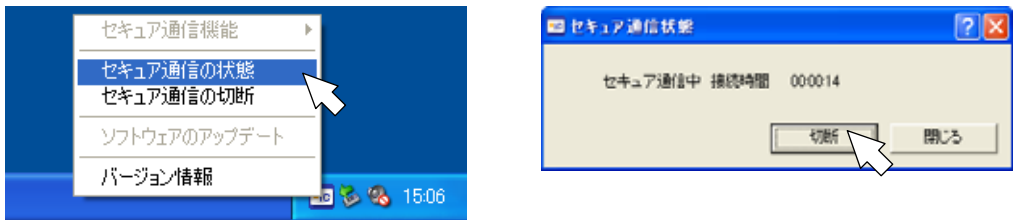
4.3.1 セキュア通信の終了操作

セーフティパスとのセキュア通信は、次の操作で終了します。
セキュア通信を終了すると、タスクトレイのアイコンの表示が×印のついたアイコンに変わります。



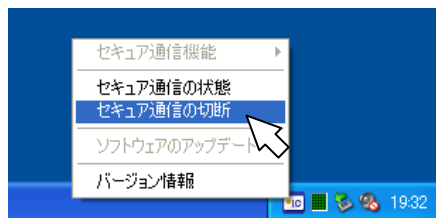
セキュア通信状態画面の [切断] ボタンで終了する

セキュア通信状態画面の[切断]ボタンを押すと、セキュア通信を終了します。
セキュア通信状態画面は、タスクトレイのアイコンを右クリックすると表示されるメニューの[セキュア通信の状態]をクリックすることで表示されます。



タスクトレイアイコンのポップアップメニューで終了する

タスクトレイのアイコンを右クリックし、表示されるメニューの[セキュア通信の切断]をクリックすることで、セキュア通信を終了できます。



セキュア通信の終了操作では、ダイヤルアップやADSL等の接続は切断されません。ダイヤルアップ接続を切断する場合には、パソコンやダイヤルアップルータ等でダイヤルアップ接続の切断操作を行ってください。

4.3.2 セキュア通信の自動終了について

次の場合には、自動的にセキュア通信を終了します。

セーフティパスへのアクセスが一定時間行われなかった場合

セーフティパスへのアクセスが一定時間行われなかった場合、セキュア通信は自動的に終了します（アイコンの状態が変化していることで、確認できます）。次にセキュア通信が必要なページにアクセスした場合には、再びパスワード入力画面が表示されますので、もう一度パスワードを入力してセキュア通信を確立してください。

セキュア通信の最大継続時間を経過した場合

セキュア通信を継続できるのは、最大 24 時間です。24 時間を経過するとセキュア通信は自動的に終了されますので、終了の 5 分前に下記の画面でお知らせします。（セキュア通信を開始するまでにかかった時間によって、24 時間よりも多少前後いたします。）

次にセキュア通信が必要なページにアクセスした場合には、再びパスワード入力画面が表示されますので、もう一度パスワードを入力してセキュア通信を確立してください。



注意

セキュア通信中にプロバイダとの接続を終了すると、一定時間を経過するまで、パソコン上はセキュア通信中として表示される場合があります。ブラウザのタイムアウト処理等により、セキュア通信の終了が推定される時には、「4.3 セキュア通信の終了」の手順に従ってセキュア通信の終了操作を行ってください。さらに継続してセーフティパスを利用される場合は、「4.1 セキュア通信の開始」の手順に従ってセキュア通信の開始操作を行ってください。



Memo

セキュア通信中にユーザー切り替えが行われると、切替先ユーザーで新しくセキュア通信を確立する必要があります。



5. IC カード認証サービス接続設定の 使い方

5.1 IC カード認証サービス接続設定 (自動設定)5 - 1

5.2 IC カード認証サービス接続設定 (手動設定)5 - 11

5.1 IC カード認証サービス接続設定（自動設定）

IC カード認証サービス接続設定では[自動設定]を実行することにより IC カード認証サービス利用ソフト for PC とブラウザのプロキシ設定を自動的に設定します。

- ◆ 以下の環境のお客様は[自動設定]を実行した後、ご利用のネットワーク側で自動構成スクリプトの編集が必要となります。P.5-14に記載されている例を元にネットワーク管理者へ編集を依頼して下さい。

・Internet Explorer のプロキシ設定が「設定を自動的に取得する」または「自動構成スクリプトを使用する」であった場合

※[自動設定]実施後の IC カード認証サービス利用ソフト for PC のプロキシ設定状態の確認方法については、P.5-8～P.5-10 をご確認ください。

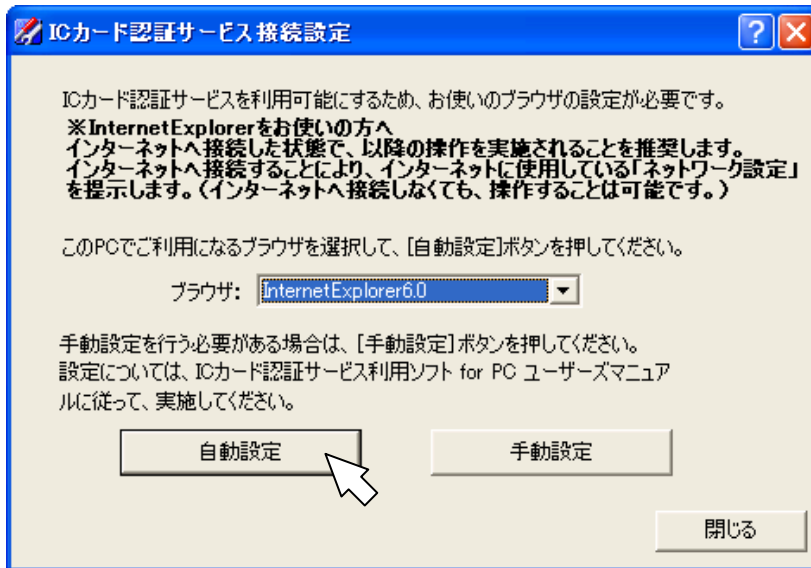
※IC カード認証サービス接続設定にて自動設定を実施する時には、必ずブラウザを終了させた状態で行ってください。

① IC カード認証サービス接続設定で[自動設定]ボタン選択

[スタートメニュー]→[プログラム(または「すべてのプログラム」)]→[IC カード認証サービス利用ソフト for PC]→[IC カード認証接続設定]を選択すると、IC カード認証サービス接続設定が起動し下記の IC カード認証サービス接続設定画面が表示されます。

Internet Explorer をお使いの方は、インターネットへ接続した状態で、以降の操作を実施されることを推奨します。

IC カード認証サービス接続設定画面では、IC カード認証サービスでご利用になるブラウザをリストから選択して[自動設定]ボタンを押してください。

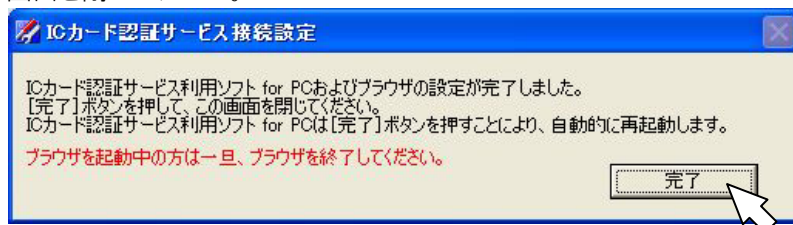


Memo

IC カード認証サービス接続設定各画面で[×]ボタンをクリックすると、IC カード認証サービス接続設定は終了します。

② [自動設定]完了

IC カード認証サービス利用ソフト for PC およびブラウザへのプロキシ設定が完了しました。[完了]ボタンを押して画面を閉じてください。





注意

- ・ご利用のパソコンの設定やインターネット接続形態によっては前ページの②の画面が表示される前に、③の画面が表示される場合があります。その際は該当箇所を参照の上、操作を行ってください。
- ・ICカード認証サービス接続設定が完了すると、Internet Explorer では、そのインターネットオプションの接続の設定にある「自動構成スクリプトを使用する」にチェックが入ることがあります。

③ 追加設定操作

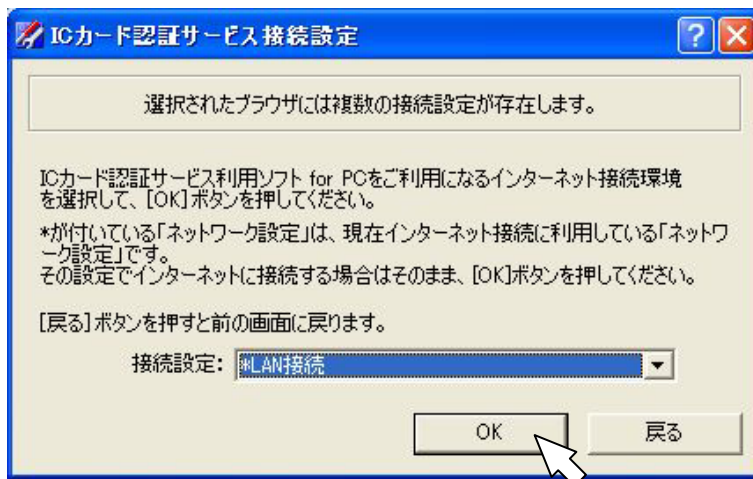
ICカード認証サービス設定画面の[自動設定]をクリックすると、プロキシ設定を行うネットワークの選択画面が表示されます。内容を確認して、次のように操作を進めてください。

• Internet Explorer をご利用の場合

パソコンに複数のネットワーク設定(LAN 接続、モデム接続など)が行われている時、接続設定選択画面が表示されます。セーフティパスの接続でご利用になる接続設定をリストから選択して[OK]ボタンを押してください。

接続設定のリストのうち、左側に「*」がついている設定は現在インターネット接続に利用している「ネットワーク設定」です。「*」がついている設定を選択して、[OK]ボタンを押してください。

「*」がついている設定がない場合は、普段インターネット接続に利用している接続プロファイルを選択してください。



Memo

*が付いている「ネットワーク設定」は、現在インターネット接続に利用している「ネットワーク設定」です。



注意

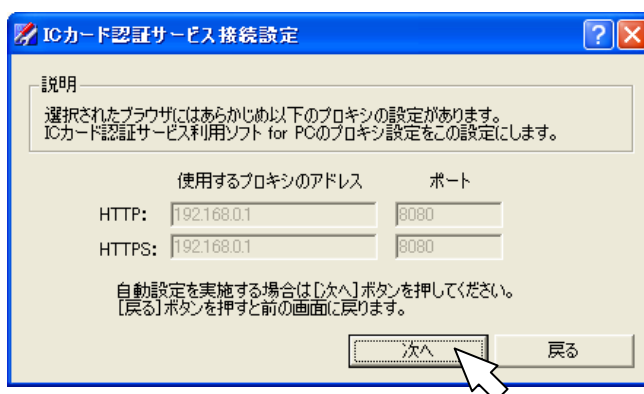
NTT 東日本・西日本提供「フレッツ接続ツール」をお使いの方

- ・ 選択項目の中の1つに、お客様が「フレッツ接続ツール」で作成した接続プロファ

イル(インターネットに接続する際のアイコン)の名前が表示された方(インターネットの接続にこのアイコンを常に利用している方)は、「LAN 接続」ではなく、このプロファイルを選択してください。

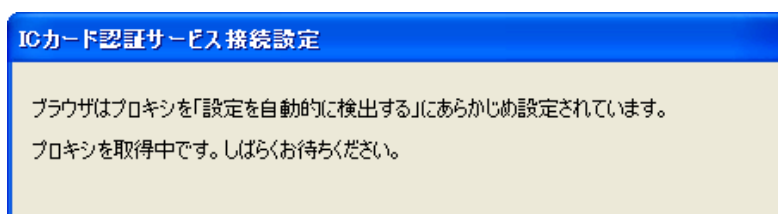
- 選択項目の中に、このプロファイル(アイコン名)がない方(もしくは仮にアイコン名が表示されても「フレッツ接続ツール」をインターネット接続時に利用していない方)は、「LAN 接続」を選択してください。
「フレッツ・スクウェア接続」は、選択しないでください。

プロキシサーバをご利用になられている方は、画面には現在ご利用のブラウザの設定情報が表示されます。表示されているプロキシ設定を IC カード認証サービス利用ソフト for PC に設定します。内容を確認し、問題がなければ[次へ]ボタンを押してください。



- **ブラウザのプロキシ設定が「設定を自動的に検出する」に設定されている場合**

ブラウザのプロキシ設定が「設定を自動的に検出する」に設定されている場合、以下の画面が表示されます。IC カード認証サービス利用ソフト for PC では、プロキシの利用有無を自動的に判定します。



上記画面が数秒～数 10 秒表示された後、プロキシ設定有無に応じて、以下の通り設定完了画面が表示されます。

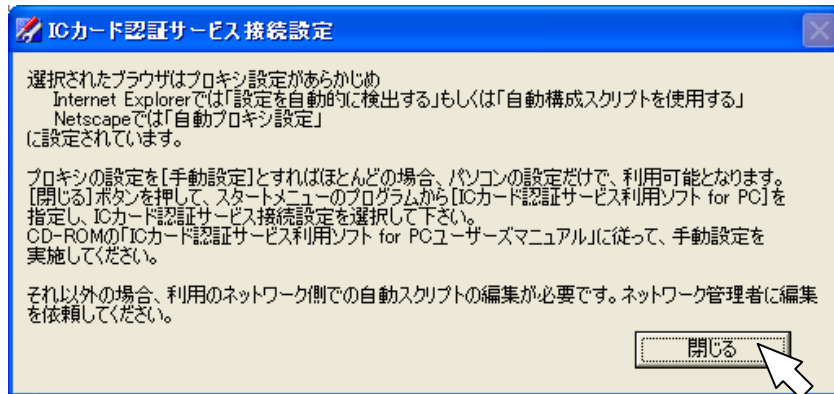
<プロキシ情報が見つからなかった場合>

P.5-2 の②の完了画面が表示されます。追加の設定は不要です。

<プロキシ情報が見つかった場合>

次ページの、ブラウザに対し自動構成スクリプトを配信する構成の場合の画面が表示されます。次ページに記載している追加の設定(ブラウザのプロキシ設定変更)が必要となります。

- 社内 LAN など特別にブラウザに対し自動構成スクリプトを配信する構成の場合
社内 LAN など特別にブラウザに対し自動構成スクリプトを配信する構成の場合、以下の画面が表示されることがあります。「5.2 IC カード認証サービス接続設定(手動設定)」に従って、プロキシを手動設定してください。



インターネット接続環境を変更した場合や複数のネットワーク環境を切替えて使用する場合

ネットワークを切替えて、セーフティパスをご利用になる場合は、IC カード認証サービス接続設定で、接続環境に応じたプロキシ設定に変更する必要があります。

ネットワーク環境を切替えた際には、ブラウザの設定をインターネットができる設定に変更した後に、IC カード認証サービス接続設定を起動して、[自動設定]を選択し、ご利用になるブラウザに応じて、以下の通り、設定を変更してください。

- インターネット接続環境を変更した場合
(例えば、フレッツ接続ツールを使用していた環境から光回線環境に変更した場合など)

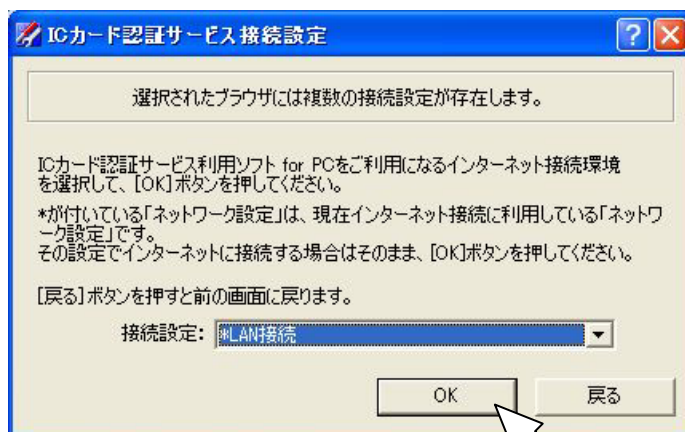
※インターネット接続環境が変更になったために、セーフティパスに接続できず、結果コード 100 になることがあります。その場合、以下の手順に従い、再度、IC カード認証サービス接続設定を行ってください。

<Internet Explorer をご利用の場合>

- ①Internet Explorer のメニューバーの[ツール]メニューから[インターネットオプション]を起動し、表示されるウィンドウの[接続]タブをクリックして、ADSL 回線を利用できる設定に変更してください。(詳細は ADSL を提供しているプロバイダの説明書に従ってください。)設定変更後、インターネットに接続できることを確認してください。
- ②インターネットに接続した状態で、IC カード認証サービス接続設定にて[Internet Explorer]を指定し、[自動設定]を選択してください。
- ③接続設定選択画面(下図参照)が表示されるときは、*が付いている「ネットワーク設定」を選択してください。*が付いている「ネットワーク設定」がない場合で、選択項目の中の1つに、接続プロファイルの名前が表示された方(インターネット接続にこのプロファイルを常に利用されている方)は、「LAN 接続」ではなく、このプロファイルを選択後、[OK]ボタンを押して次に進んでください。

接続設定のリストのうち、左側に「*」がついている設定は現在インターネット接続に利用している「ネットワーク設定」です。

「*」がついている設定がない場合は、普段インターネット接続に利用している接続プロファイルを選択してください。



④IC カード認証サービス接続設定で設定を完了すれば、ご利用可能です。

「フレッツ・スクウェア接続」は、選択しないでください。

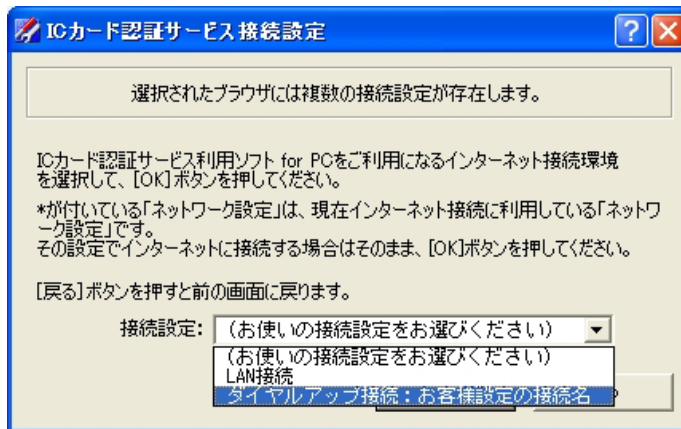
• 会社の LAN からダイヤルアップに切り替える場合

<Internet Explorer をご利用の場合>

- ①Internet Explorer のメニューバーの[ツール]メニューから[インターネットオプション]を起動し、表示されるウィンドウの[接続]タブをクリックします。ご利用になるダイヤルアップの接続を選択し、[設定]を確認して、ダイヤルアップを利用できる設定に変更してください。(詳細はダイヤルアップを提供しているプロバイダの説明書に従ってください。)設定変更後、インターネットができることを確認してください。
- ②変更完了後、設定したダイヤルアップの「接続名」を記録してください。
- ③インターネットに接続した状態で、IC カード認証サービス接続設定にて[Internet Explorer]を指定し、[自動設定]を選択してください。
- ④接続設定選択画面(下図参照)が表示されるときは、*が付いている「ネットワーク設定」を選択してください。*が付いている「ネットワーク設定」がない場合は、②で記録したダイヤルアップの[接続名]を選択して、[OK]ボタンを押して次に進んでください。

接続設定のリストのうち、左側に「*」がついている設定がある場合は、その接続プロファイルを選択して、[OK] を押してください。

「*」がついている設定がない場合は、普段インターネット接続に利用している接続プロファイルを選択してください。



⑤IC カード認証サービス接続設定で設定を完了すれば、ご利用可能です。

■ ICカード認証サービス接続設定[自動設定]後のプロキシ設定状態について

ICカード認証サービス接続設定で[自動設定]を実行した後の、ブラウザのプロキシ設定及びICカード認証サービス利用ソフト for PCのプロキシ設定の状態を以下に示します。

自動設定実施前のブラウザのプロキシ設定	自動設定実施後のブラウザのプロキシ設定	自動設定実施後のICカード認証サービス利用ソフト for PCのプロキシ設定
プロキシ設定なし	Windows2000/XP の場合 file://C:¥Documents and Settings ¥All Users¥Application Data ¥SafetyPass¥SafetyPass.pac WindowsVista/7 の場合 file://C:¥ProgramData ¥SafetyPass¥SafetyPass.pac	プロキシ設定なし
プロキシサーバ設定 例) HTTP192.168.10.100:8080 HTTPS192.168.10.100:8080	HTTPのみ 127.0.0.1:8080 (*注 1) 他のプロトコルについては変更なし HTTPS 192.168.10.100:8080	例) HTTP 192.168.10.100:8080 HTTPS192.168.10.100:8080
プロキシサーバ設定 (設定を自動的に検出する)	プロキシ情報が見つからなかった場合 設定を自動的に検出するに加えて、 SafetyPass.pac の設定(上記、プロキシ 設定なしの場合の設定) プロキシ情報が見つかった場合設定を 自動的に検出する 変更なし(*注 2)	設定を自動的に検出する
プロキシサーバ設定 (自動構成スクリプト) 例) http://proxy.pac	自動構成スクリプトを使用 http://proxy.pac 変更なし(*注 2)	自動構成スクリプトを使用 例) http://proxy.pac

(*注 1)自動設定実施前のブラウザのプロキシ設定にて、「127.0.0.1:8080」が設定されていた場合、自動設定実施後のブラウザのプロキシ設定では、「8080」とは異なるポートで設定されます。

(*注 2)ICカード認証サービス接続設定では、設定を変更しません。社内のネットワーク管理者に自動構成スクリプトの編集を依頼して頂くか、または手動でのICカード認証サービス接続設定変更(P.5-11)が必要となります。

ICカード認証サービス利用ソフト for PC のプロキシ設定状態については、バージョン情報画面で確認可能です。プロキシ設定に応じて、バージョン情報画面には次のように表示されます。

- **プロキシ設定なしの場合**

プロキシ設定の欄:「プロキシ未使用」と表示

プロキシサーバーの欄:空欄



- **プロキシサーバ設定の場合**

プロキシ設定の欄:「プロキシサーバーを指定」と表示

プロキシサーバー(HTTP)の欄:「プロキシサーバーの IP アドレス:ポート番号」の形式で表示

プロキシサーバー(HTTPS)の欄:「プロキシサーバーの IP アドレス:ポート番号」の形式で表示

※プロキシサーバー(HTTPS)の欄は、設定無しの場合は空欄となります。



- プロキシサーバ設定(設定を自動的に検出する)の場合
 プロキシ設定の欄:「設定を自動的に検出する」と表示
 プロキシサーバの欄:「設定を自動的に検出する」と表示



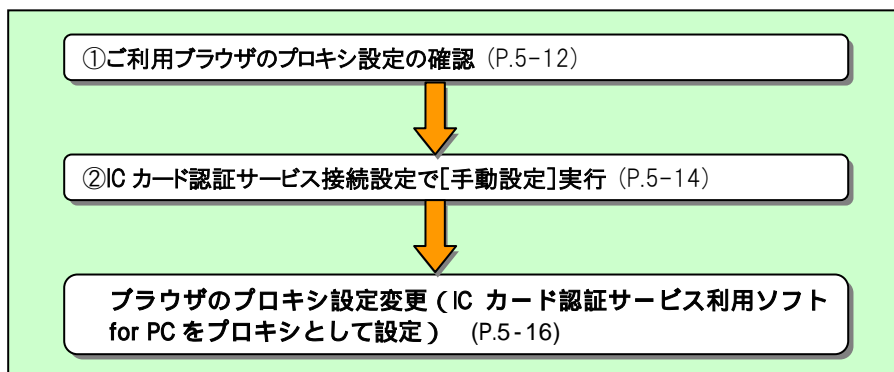
- プロキシサーバ設定(自動構成スクリプト)の場合
 プロキシ設定の欄:「自動構成スクリプトを使用」と表示
 アドレスの欄: 自動構成スクリプトの URL を表示



5.2 IC カード認証サービス接続設定（手動設定）

手動設定では IC カード認証サービス利用ソフト for PC のプロキシ設定を手動で行うことが可能です。手動設定につきましては、ネットワーク設定に詳しい方が操作する事を推奨します。

手動設定の流れは、以下の通りです。



注意

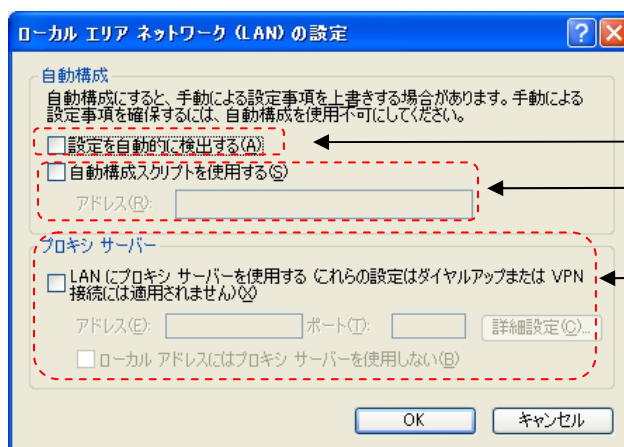
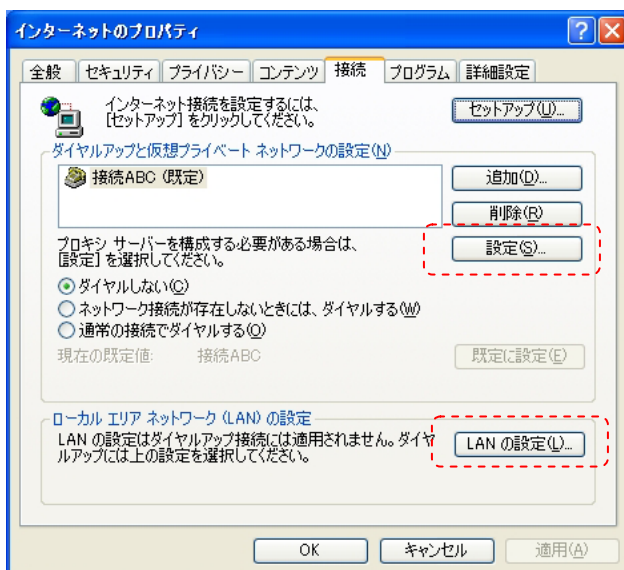
[手動設定]の場合、IC カード認証サービス接続設定での設定に加えて、別途ご利用ブラウザのプロキシ設定変更が必要となります。

① ご利用ブラウザのプロキシ設定の確認

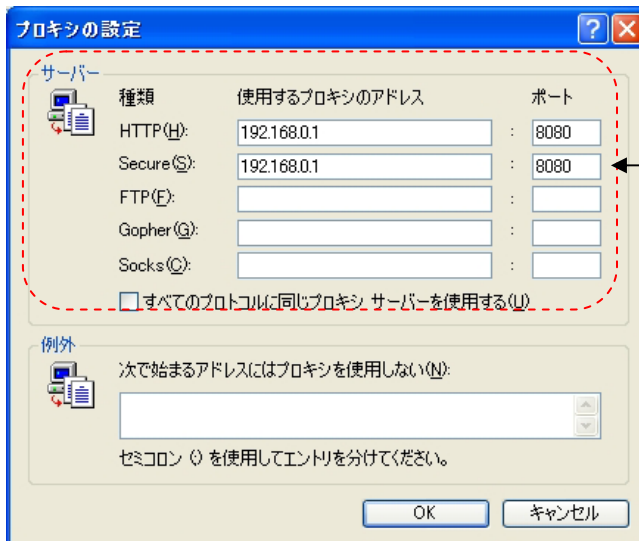
まず最初に、ご利用になるブラウザのプロキシ設定を確認します。

● [Internet Explorer]をご利用の方

Internet Explorer のメニューバーの[ツール]メニューから[インターネットオプション]を起動します。表示されるウィンドウの[接続]タブをクリックします。モデム/TA 接続の場合は画面上的[設定]ボタン、ルータ・LAN 接続の場合は[LAN の設定]を押して、プロキシサーバーの設定を確認してください。



※プロキシサーバー欄で、[詳細設定]ボタンを押した際に表示される画面



確認ポイント[4]

- 確認ポイント[1] [設定を自動的に検出する]にチェックが入っていない。
- 確認ポイント[2] [自動設定の скриптを使用する]にチェックが入っていない。
- 確認ポイント[3] [プロキシサーバーを使用する]にチェックが入っていない。

ご利用のブラウザの
プロキシ設定状態

プロキシ設定はありません

- 確認ポイント[1] [設定を自動的に検出する]にチェックが入っていない。
- 確認ポイント[2] [自動設定の скриптを使用する]にチェックが入っていない。
- 確認ポイント[3] [プロキシサーバーを使用する]にチェックが入っている。
- 確認ポイント[4] [HTTP]にプロキシサーバーが登録されている。

ご利用のブラウザの
プロキシ設定状態

プロキシサーバーが指定されています

- 確認ポイント[2] [自動設定の скриптを使用する]にチェックが入っており、
 скриптが登録されている。

ご利用のブラウザの
プロキシ設定状態

自動構成スクリプトを使用しています

- 確認ポイント[1] [設定を自動的に検出する]にチェックが入っている。

ご利用のブラウザの
プロキシ設定状態

自動的に検出します

手動設定を行う必要はありません。
「5.1 ICカード認証サービス接続設定（自動設定）」を参照の上、自動設定を実行してください。

ICカード認証サービス接続設定で「手動設定」実行に進んでください。
ご使用の自動構成スクリプトが編集可能かどうかによって、手順が多少異なりますので、ご注意ください。

「設定を自動的に検出する」にチェックが入っていても、実際には「設定を自動的に検出する」を利用していないことがあります。まず、「5.1 ICカード認証サービス接続設定（自動設定）」を参照の上、自動設定を実行してください。プロキシ設定（自動設定）を実行して、「設定を自動的に検出する」に設定されています旨の画面（P.5-5のブラウザに対し自動構成スクリプトを配信する構成の場合の画面）が表示される場合で、自動構成スクリプトの編集が不可能な場合には ICカード認証サービス接続設定で「手動設定」 実行に進んでください。

② IC カード認証サービス接続設定で[手動設定]実行

- ご利用のブラウザのプロキシ設定が「自動構成スクリプトを使用」の場合

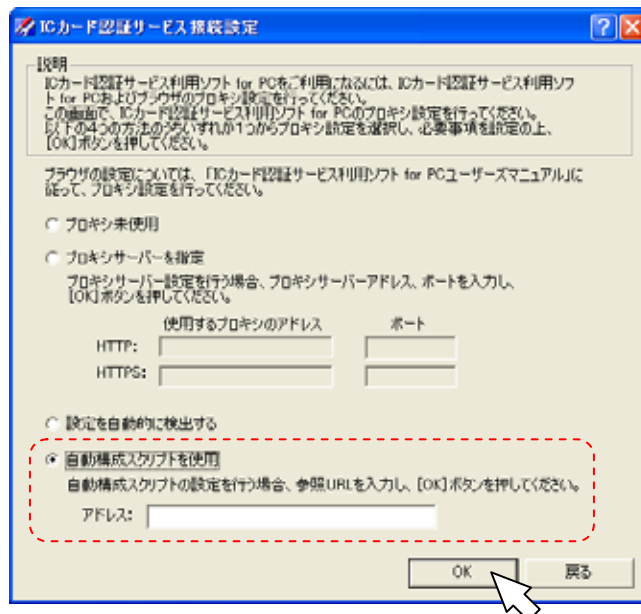
ご使用の自動構成スクリプトが編集可能な場合

以下の通り、自動構成スクリプトに www.com-id.com 宛の HTTP 通信をローカルホストへ向けます。

```
function FindProxyForURL(url,host)
{
  if( host == "www.com-id.com" )
  {
    //HTTP
    if(url.substring(0,7)== "http://")
      return "PROXY 127.0.0.1:8080";
  }
  :
  :
  :
  return "DIRECT";
}
```

www.com-id.com 宛の HTTP 通信をローカルホストへ向けます。

次に、ブラウザのプロキシ設定情報を元に IC カード認証サービス接続設定で[手動設定]を行います。IC カード認証サービス接続設定で[手動設定]ボタンを押すと、下記の手動設定画面が表示されます。
① ご利用ブラウザのプロキシ設定の確認で確認したブラウザのプロキシ設定状態に対応した設定を行ってください。設定後、[OK]ボタンを押してください。



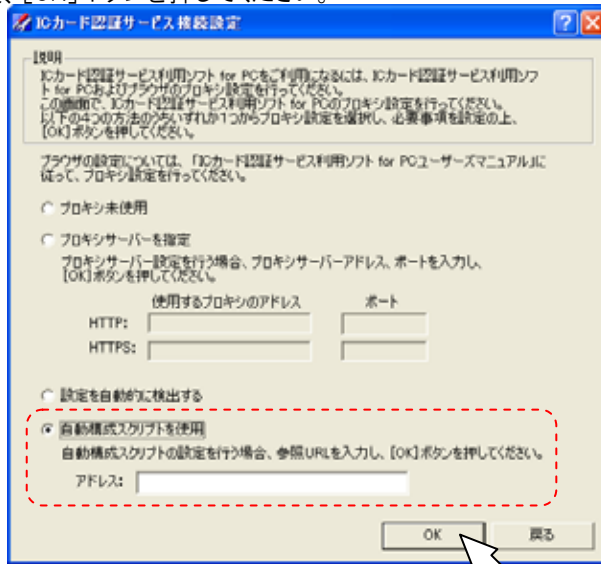
ご使用の自動構成スクリプトが編集可能な場合は、設定はこれで終了です。次項の③ブラウザの設定変更(IC カード認証サービス利用ソフト for PC をプロキシとして設定)は必要ありません。これまで通りのブラウザの設定で、利用可能です。

ご使用の自動構成スクリプトを編集できない場合

ブラウザのプロキシ設定情報を元に IC カード認証サービス接続設定で[手動設定]を行います。

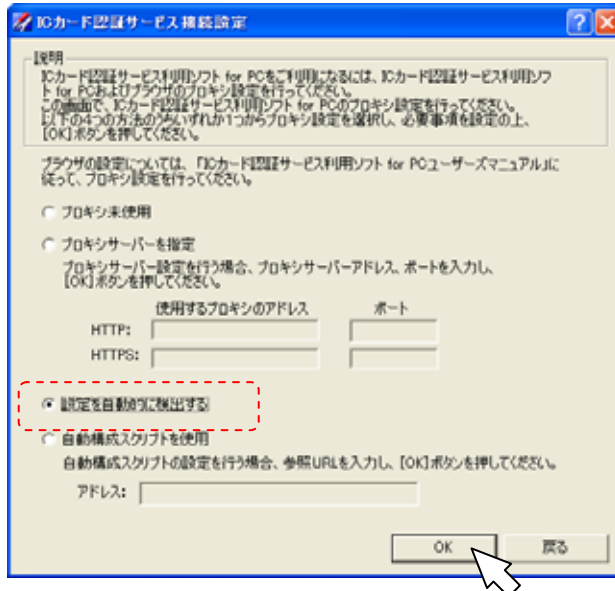
IC カード認証サービス接続設定で[手動設定]ボタンを押すと、下記の手動設定画面が表示されます。

①ご利用ブラウザのプロキシ設定の確認で確認したブラウザのプロキシ設定状態に対応した設定を行ってください。設定後、[OK]ボタンを押してください。



- ご利用のブラウザのプロキシ設定が「自動的に検出する」の場合

[設定を自動的に検出する]にチェックを入れ、[OK]ボタンを押してください。



お使いの自動構成スクリプトが編集可能な場合を除き、引き続き、ブラウザにも IC カード認証サービス利用ソフト for PCを利用するためのプロキシ設定変更が必要となります。次頁以降の手順を元に設定を行ってください。

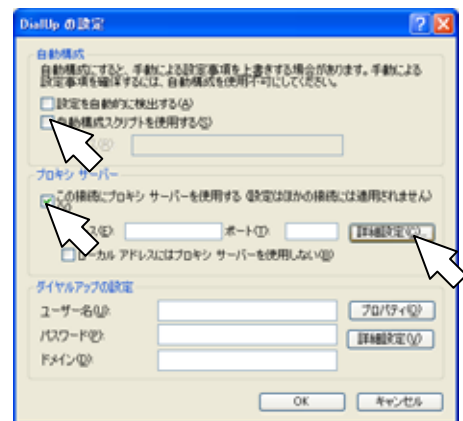
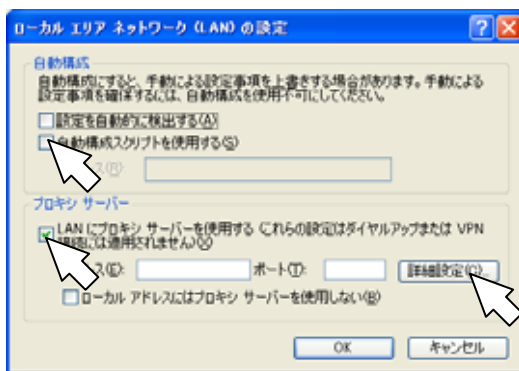
ブラウザのプロキシ設定変更 (IC カード認証サービス利用ソフト for PC をプロキシとして設定)

最後に、IC カード認証サービス利用ソフト for PC をブラウザから利用可能とするため、ブラウザのプロキシ設定を変更します。

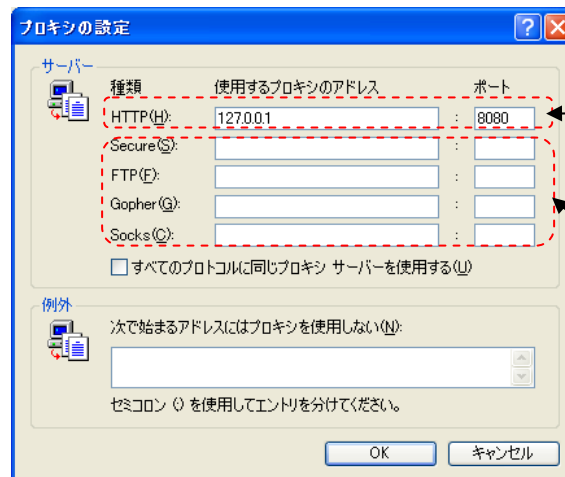
- [Internet Explorer]をご利用の方

ブラウザのプロキシ設定を「自動構成スクリプトを使用する」に設定している方

ローカルエリアネットワーク(LAN)、または、モデム/TA の設定画面にて [自動構成スクリプトを使用する]のチェックを外してください。その後、[LAN にプロキシサーバーを使用する]、または、[この接続にプロキシサーバーを使用する]にチェックをいれ、[詳細設定(C)]ボタンを押します。



プロキシの設定画面が表示されますのでサーバーの HTTP(H)の使用するプロキシのアドレスに 127.0.0.1 を入力してください。ポートに 8080 を入力してください。入力が終わりましたら[OK]ボタンを押してください。「P.5-18」へ進みます。



HTTP プロキシに
IP アドレス: 127.0.0.1
ポート番号: 8080
を入力

必要に応じて入力して
ください。



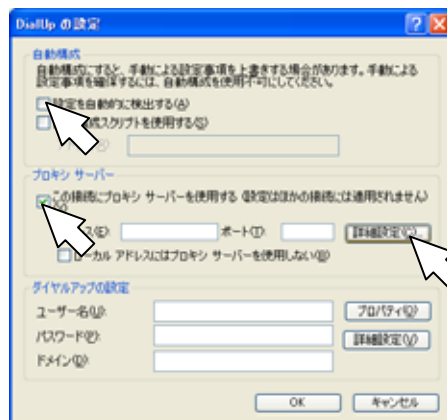
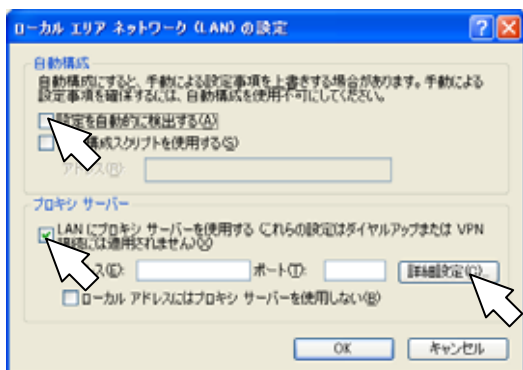
注意

前回の自動設定等で、設定すべきポートが 8080 以外に変更されている場合があります。この場合、まずはすべてのプロキシ設定を外した後に、再度プロキシ設定にて [自動設定] を実施してください。

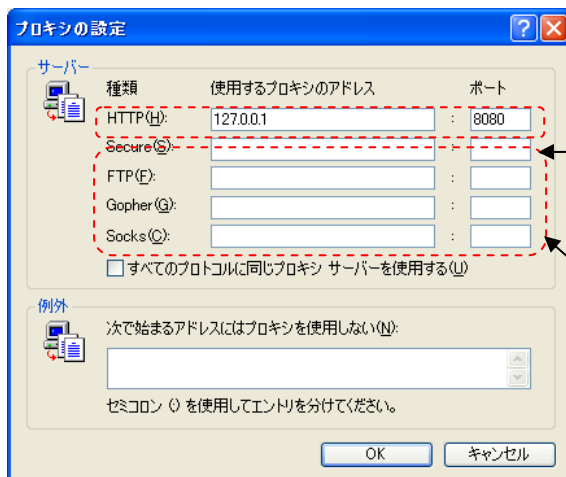
その後、②IC カード認証サービス接続設定で[手動設定]実行より再度実施してください。

ブラウザのプロキシ設定を「自動的に検出する」に設定している方

ローカルエリアネットワーク(LAN)、または、モデム/TA の設定画面にて、[設定を自動的に検出する(A)]のチェックを外してください。その後、[LAN にプロキシサーバーを使用する]、または、[この接続にプロキシサーバーを使用する]にチェックをいれ、[詳細設定(C)]ボタンを押します。



プロキシの設定画面が表示されますのでサーバーの HTTP(H)の使用するプロキシのアドレスに 127.0.0.1 を入力してください。ポートに 8080 を入力してください。入力が終わりましたら[OK]ボタンを押してください。「P.5-18」へ進みます。



HTTP プロキシに
IP アドレス: 127.0.0.1
ポート番号: 8080
を入力

必要に応じて入力してください。

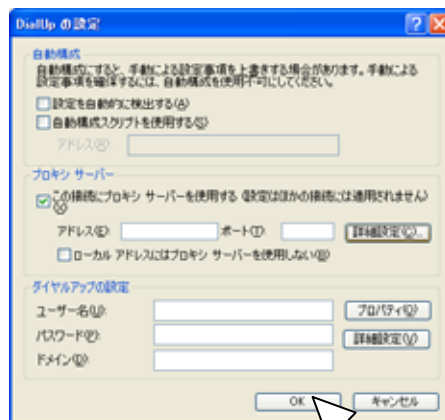
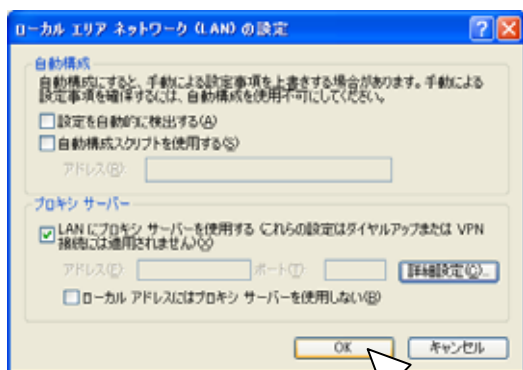


注意

前回の自動設定等で、設定すべきポートが 8080 以外に変更されている場合があります。この場合、まずはすべてのプロキシ設定を外した後に、再度プロキシ設定にて [自動設定] を実施してください。

その後、② IC カード認証サービス接続設定で [手動設定] 実行より再度実施してください。

ローカルエリアネットワーク(LAN)、または、モデム/TA の設定画面に戻りますので、[OK]ボタンを押して画面を閉じてください。これでプロキシの設定が終了です。





6. メンテナンス

6.1	バージョン情報を確認する	6-1
6.2	ソフトウェアのアップデート.....	6-2
6.2.1	ソフトウェアの自動アップデート	6-2
6.2.2	ソフトウェアの手動アップデート	6-5
6.2.3	CD-ROM からのアップデート	6-8
6.3	アンインストール	6-9



6.1 バージョン情報を確認する

[スタートメニュー]→[プログラム(または「すべてのプログラム」)]→[IC カード認証サービス利用ソフト for PC]→[バージョン情報]の選択、あるいはタスクトレイのアイコンを右クリックして表示されるポップアップメニューの[バージョン情報]を選択すると、下記の画面が表示されます。

この画面ではバージョン情報のほか、本ソフトの環境設定、ログ出力の有無、最新のソフトウェアの確認結果を確認できます。



- ・バージョン : IC カード認証サービス利用ソフト for PC のバージョンを示します。
- ・IC カードリーダー : 本ソフトで使用する IC カードリーダーの情報を示します。
- ・プロキシ設定 : IC カード認証サービス接続設定で設定したプロキシ設定状態を示します。
- ・プロキシサーバー : IC カード認証サービス接続設定で設定したプロキシサーバー情報を示します。
- ・ログ出力 : 接続ログの出力有無を示します。
- ・最新版確認 : 最新版ソフトウェアの確認状況を示します。
- ・ステータス : 本ソフトの状態を示します。

[クリップボードコピー]ボタンを押すと、画面に表示されている情報をクリップボードにコピーできます。



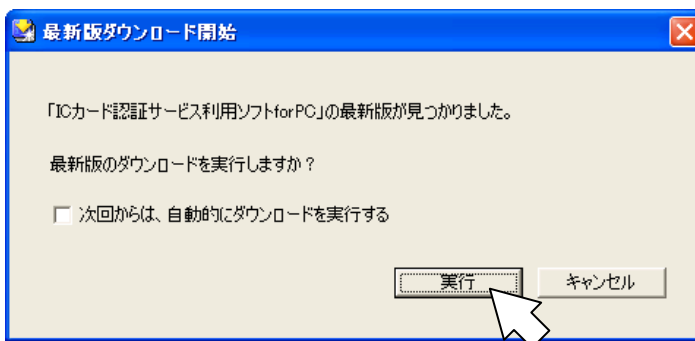
6.2 ソフトウェアのアップデート

IC カード認証サービス利用ソフト for PC では自動的にソフトウェアの最新版のチェックを行い、最新版が見つかった場合は更新することができます。

最新版へのアップデートを行う場合は次の手順で操作してください。(タスクトレイのアイコンを右クリックし、表示されるポップアップメニューの[ソフトウェアのアップデート]をクリックすることにより手動で更新することもできます。手動で更新する場合は 6.2.2 をご確認ください。)

6.2.1 ソフトウェアの自動アップデート

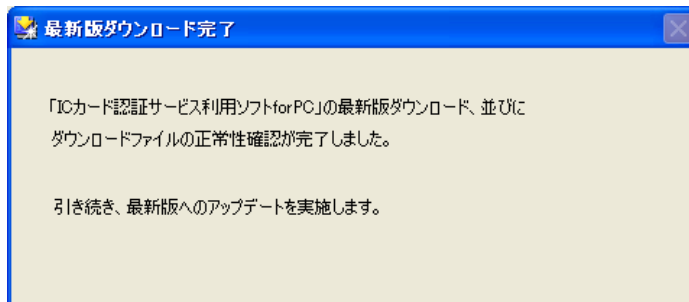
- ① セーフティパスへ接続した際、最新版のソフトウェアがあるか自動的に確認します。最新版が見つかった場合、最新版をダウンロードするかどうか確認する画面が表示されます。ダウンロードする場合は[実行]ボタンを押してください。



Memo

[次回からは、自動的にダウンロードを実行する]にチェックしておくと、次回からは、本画面が数秒表示された後に、自動的にダウンロードが実行されます。

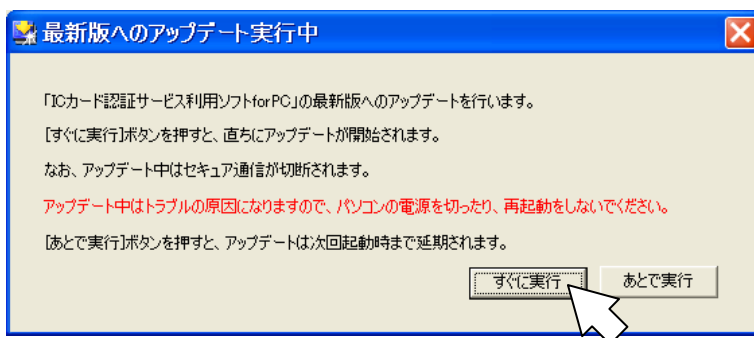
- ② 最新版のダウンロードが終了すると、最新版ダウンロード完了画面が表示されます。ダウンロード完了後、すぐに最新版へのアップデートを実施します。



Windows Vista/7 の場合、以下の画面が表示されますが、[続行]ボタンを押してください。



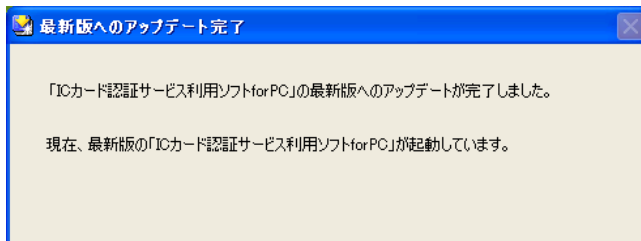
- ③ 最新版へのアップデート確認画面が表示されます。最新版へのアップデートを行う場合は、[すぐに実行]ボタンを押してください。最新版へのアップデートを開始します。



注意

アップデート中はパソコンの電源を切ったり、再起動をしないでください。

- ④ 最新版へのアップデートが完了すると最新版へのアップデート完了画面が表示されます。最新版の「ICカード認証サービス利用ソフト for PC」でセキュア通信がご利用いただけます。

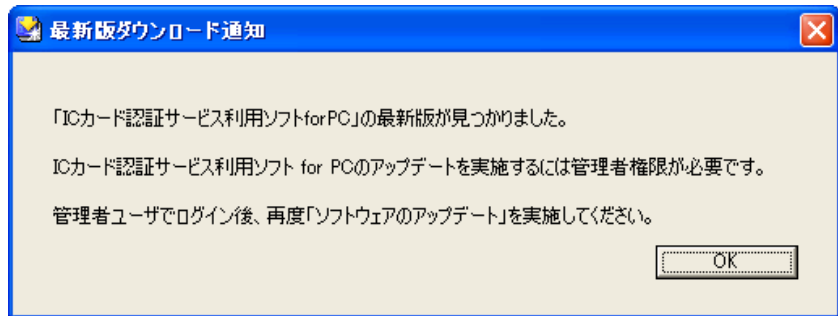


注意

ソフトウェアのアップデートをする際は、IC カード認証サービス接続設定およびバージョン情報の画面は閉じてください。

メッセージが表示されて最新版のダウンロード、アップデートに失敗した場合には、メッセージ内容を確認して、ソフトウェアのアップデート操作からやり直してください。(メッセージ内容の詳しい情報については、「7.お困りのときには」をご確認ください。)

管理者権限のないユーザーでの使用時には以下の画面が表示されます。

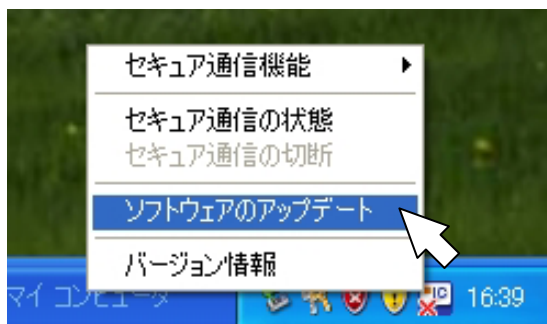


画面の内容に従って、管理者権限のあるユーザーでログイン後、再度「ソフトウェアのアップデート」を実施してください。

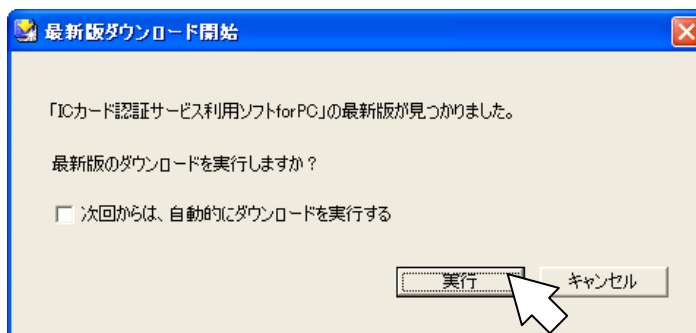
6.2.2 ソフトウェアの手動アップデート

セキュア通信中はソフトウェアの手動アップデートを実施できません。
コンピュータの管理者権限が必要になります。コンピュータの管理者権限を持つアカウントでログオンしてから、操作してください。

- ① タスクトレイのアイコンを右クリックして表示されるポップアップメニューの[ソフトウェアのアップデート]を選択してください。



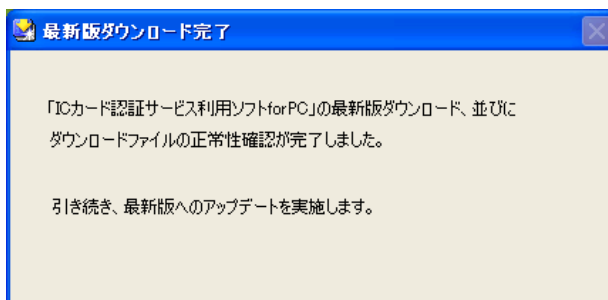
- ② 最新版のソフトウェアがあるか確認します。最新版が見つかった場合、最新版をダウンロードするかどうか確認する画面が表示されます。ダウンロードする場合は[実行]ボタンを押してください。



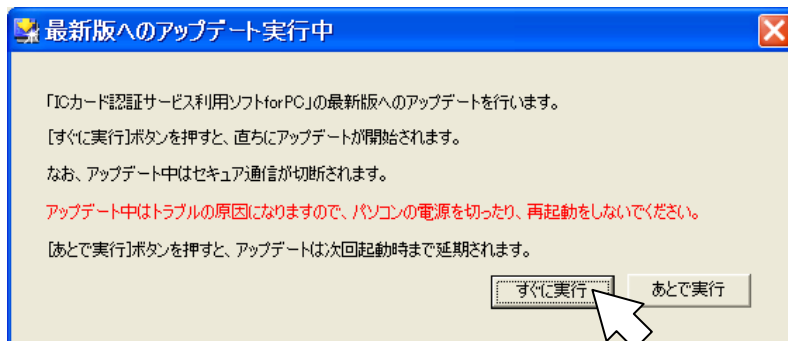
Memo

[次回からは、自動的にダウンロードを実行する]にチェックしておくと、次回からは、本画面が数秒表示された後に、自動的にダウンロードが実行されます。

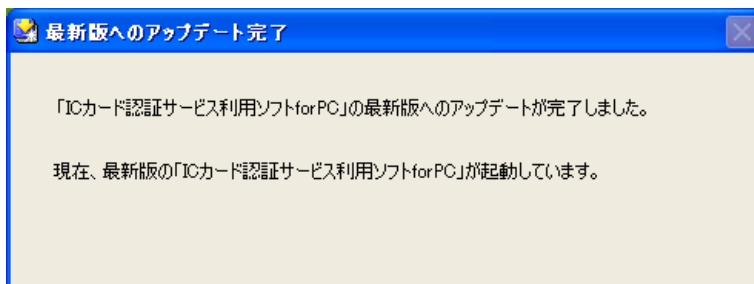
- ③ 最新版のダウンロードが終了すると、最新版ダウンロード完了画面が表示されます。ダウンロード完了後、すぐに最新版へのアップデートを実施します。



- ④ 最新版へのアップデート確認画面が表示されます。最新版へのアップデートを行う場合は、[すぐに実行]ボタンを押してください。最新版へのアップデートを開始します。



- ⑤ 最新版へのアップデートが完了すると最新版へのアップデート完了画面が表示されます。最新版の「ICカード認証サービス利用ソフト for PC」でセキュア通信がご利用いただけます。

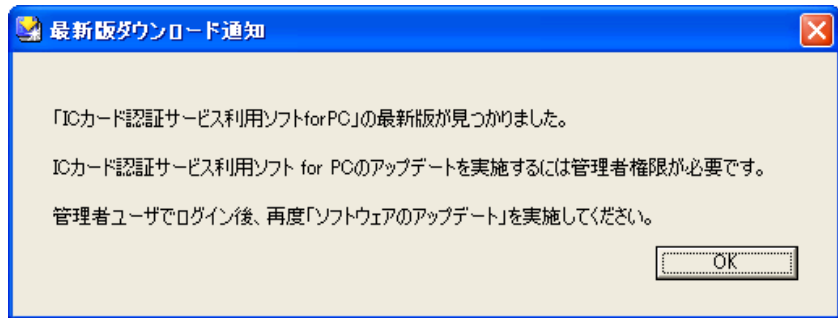


注意

メッセージが表示されて最新版のダウンロード、アップデートに失敗した場合には、メッセージ内容を確認して、ソフトウェアのアップデート操作からやり直してください。(メッセージ内容の詳しい情報については、「7.お困りのときには」をご確認ください。)

 Memo

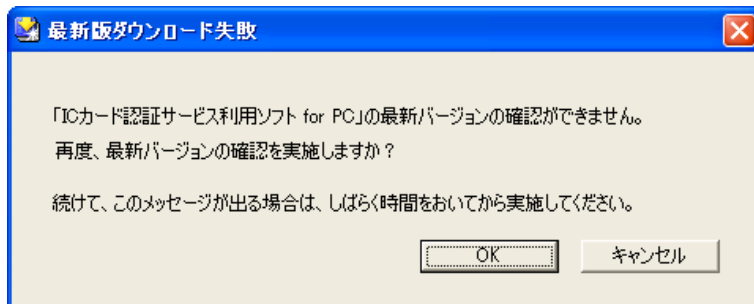
管理者権限のないユーザーでの使用時には以下の画面が表示されます。



画面の内容に従って、管理者権限のあるユーザーでログイン後、再度「ソフトウェアのアップデート」を実施してください。

 Memo

管理者権限のないユーザーでの最新版確認に失敗した場合、次の画面が表示されます。

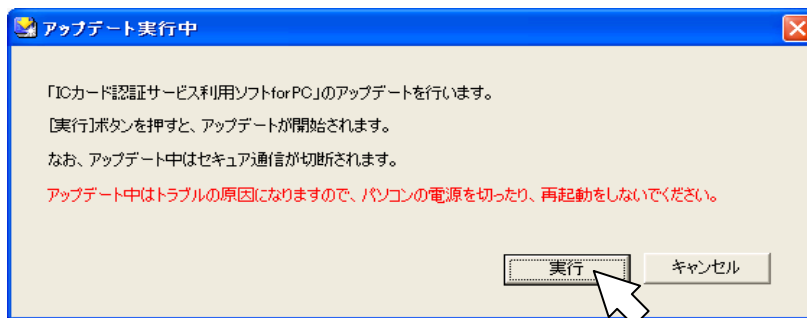


[OK]ボタンをクリックすると再度最新版確認を実施します。[キャンセル]ボタンをクリックすると、最新版確認を中止します。

6.2.3 CD-ROM からのアップデート

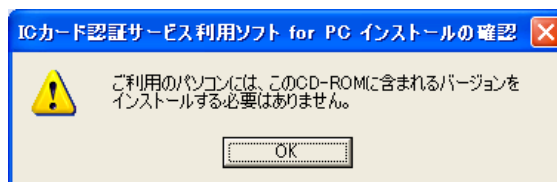
コンピュータの管理者権限が必要になります。コンピュータの管理者権限を持つアカウントでログオンしてから、操作してください。

- ① 「IC カード認証サービス利用ソフト for PC」がインストールされている状態でパソコンの CD-ROM ドライブにインストール CD-ROM をセットすると、現在インストールされているソフトのバージョンと CD-ROM 内に存在しているバージョンとの比較を自動的に実施します。CD-ROM 内のソフトの方が新しい場合、最新版にアップデートするかどうかの確認する画面が表示されます。アップデートを実施する場合は[実行] ボタンを押してください。

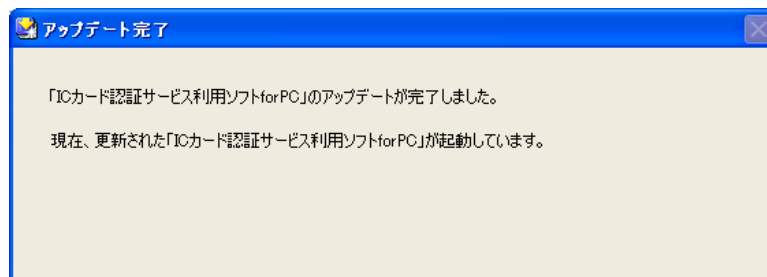


Memo

現在インストールされているソフトの方が CD-ROM 内のソフトよりも新しい場合は次の画面が表示されます。



- ② アップデートが完了するとアップデート完了画面が表示されます。アップデートされたバージョンでの「IC カード認証サービス利用ソフト for PC」でセキュア通信がご利用いただけます。





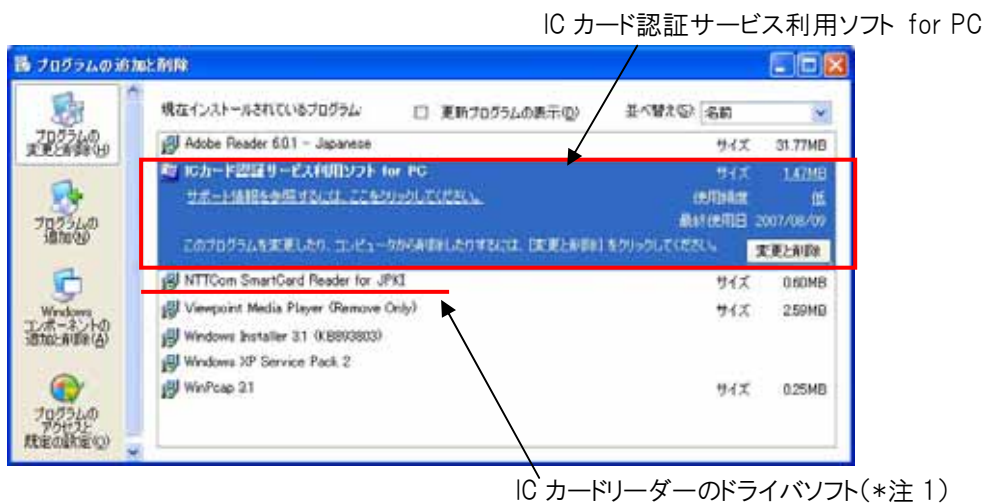
6.3 アンインストール

IC カード認証サービス利用ソフト for PC のアンインストールは、次の操作で行ってください。

アンインストールを実行するには本ソフトをインストールしたアカウントの権限が必要になります。本ソフトをインストールしたアカウントでログオンしてから、アンインストールを始めてください。

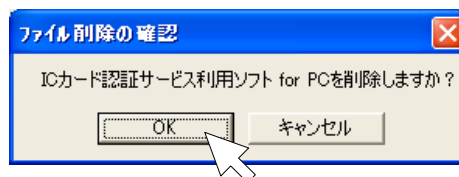
アンインストール時は他のユーザはログオフしてください。

- ① スタートメニュー→(設定)→コントロールパネルの中のプログラムのアンインストール(アプリケーションの追加と削除/プログラムの追加と削除)から IC カード認証サービス利用ソフト for PC を選択して、アンインストールを実施して下さい。



- (*注 1) IC カード認証サービス利用ソフト for PC のアンインストールでは、IC カードリーダーのドライバソフトは同時にアンインストールされません。ドライバソフトをアンインストールするには、スタートメニュー→(設定)→コントロールパネルの中のプログラムのアンインストール(アプリケーションの追加と削除/プログラムの追加と削除)から IC カードリーダーのドライバソフトのアンインストールを実施して下さい。

- ② 削除を確認する画面が表示されます。このままアンインストールを続ける場合には、[OK]ボタンを押してください。([キャンセル]ボタンを押した場合には、アンインストールを中止します。)



- ③ IC カード認証サービス利用ソフト for PC のメンテナンスの完了画面が表示されます。続けて[完了(F)]ボタンを押してください。



Memo

アンインストールが完了すると、ブラウザのプロキシ設定はICカード認証サービス for PC をインストールする以前の状態に戻ります。



注意

グローバルユーザを含む複数のアカウントでパソコンをご利用になっている場合、アンインストールを行ったユーザ以外のグローバルユーザーのブラウザ設定は IC カード認証サービス for PC をインストールする以前の状態には戻りません。この場合はご利用ブラウザのプロキシ設定を手動で設定し直して頂くことになります。



7. お困りのときには

インストールに関するトラブル7-2
NTTコミュニケーションズのUSB版ICカードリーダーのトラブル	...7-3
セーフティパスへの接続時のトラブル7-4
セキュア通信が切断された場合のトラブル7-6
ソフトウェアのアップデートのトラブル7-6

ICカード認証サービス利用ソフト for PCを使っていて、トラブルが起きたときや疑問に思うことがあるときには、まず、ここを読んで対処してください。該当する項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本サービスの対応窓口へご確認ください。

また、よく寄せられる質問(FAQ)をセーフティパス・ホームページ <http://www.safety-pass.com/> でお知らせしていますので、ご確認ください。


(以下のトラブルの症状で、■Windows (OS 種別)■で記述している項目は、この OS のパソコンをご利用のお客様に該当する項目であることを示しています。

ICカードリーダーは、SCR331/3310-NTTCom USB SmartCard Reader を指します。)


インストールに関するトラブル

症状	原因と対処
インストール CD-ROM をセットしたとき	Windows 95/NT/98/98SE/Me では、インストールできません。 Windows 2000/XP/Vista の OS が搭載されたパソコンで、ご利用ください。
インストールの開始画面が表示されない	CD-ROM が正しくセットされていることを確認して、デスクトップの[マイコンピュータ]をダブルクリックし、次に CD-ROM ドライブの[IC カード認証サービス]をダブルクリックします。CD-ROM の内容が表示された場合は、その中にある Setup.exe をダブルクリックすると、インストールの開始画面が起動されます。
旧版が既にインストールされている	IC カード認証サービス利用ソフト for PC は、旧版セーフティパスサービス利用ソフト for PC との同時利用には対応しておりません。旧版セーフティパスサービス利用ソフト for PC をアンインストールしてから、再度、IC カード認証サービス利用ソフト for PC のインストールを行ってください。また、セーフティパスへの接続のパスワードは引き継がれませんので、ご注意ください。IC カード認証サービス利用ソフト for PC をご利用の際は、再度パスワードの入力をしてください。現在お使いのカードリーダーはそのままご利用できます。使用中のインストール済みの IC カードリーダードライバソフトはアンインストールしないでください。
「ご利用のパソコンには、この CD-ROM に含まれるバージョンをインストールする必要はありません」と表示される	ご利用中のパソコンには既に CD-ROM 内に含まれているバージョンもしくはそれよりも新しいバージョンの IC カード認証サービス利用ソフト for PC がインストールされています。セットした CD-ROM からのアップデートを実施する必要はありません。
「最新版へのアップデートを実行中です。」のメッセージが表示される	自動アップデートもしくは手動アップデートが実行されています。メッセージに従ってアップデート終了後、再度 CD-ROM を挿入しなおすか、CD-ROM 内の「Setup.exe」を実行してください。
[IC カード認証サービス利用ソフト for PC]のインストール時	IC カードリーダーの選択画面で、使用する IC カードリーダー名が表示されない IC カードリーダーを正しく認識できていません。 IC カードリーダーが正しく接続されていることを確認して、次の対処を行ってください。 【原因】IC カードリーダーが接続されていない。 【対処】IC カードリーダーを正しく挿し直してください。 【原因】IC カードリーダーは接続した状態であるが、使用する IC カードリーダー名には表示されない。 【対処】ドライバを正しくインストールできていない場合があります。 NTT コミュニケーションズの USB 版 IC カードリーダーでは、タスクバーの[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[デバイスマネージャ]の一覧の中に、IC カードリーダー(SCR-331/3310-NTTCom USB SmartCard Reader)を確認できない場合や、警告マークが表示されている場合には、正しく動作していません。 パソコンを再起動しても状態が改善されない場合には、もう一度 IC カードリーダーのドライバソフトのインストールを行ってください。 ([システム]をダブルクリックして表示されたウィンドウで[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンを押してください。デバイスマネージャの「スマートカード読み取り装置」の下に「SCR331/3310-NTTCom USB SmartCard Reader」が表示されていることを確認してください。) PC/SC 対応ではない IC カードリーダーは、ご利用になれません。既にお持ちの IC カードリーダーが PC/SC 対応ではない場合には、NTT コミュニケーションズの USB 版 IC カードリーダーをご使用ください。(ドライバソフトのインストールは、「2.1 インストール手順」をご確認ください。)

NTT コミュニケーションズの USB 版 IC カードリーダーのトラブル

症状		原因と対処
IC カードリーダーのランプの状態	パソコンを起動した状態でランプが点灯しない	IC カードリーダーがパソコンに正しく接続されていないか、IC カードリーダーのドライバソフトが正しくインストールされていない可能性があります。 IC カードリーダーが正しく接続されていなかった場合には、正しく接続し直してください。それでも、点灯しない場合は、IC カードリーダーのドライバソフトの更新をしてください。
	IC カードをセットしたときに、ランプが点滅しない	IC カードがIC カードリーダーに正しくセットされていないか、IC カードリーダーのドライバソフトが正しくインストールされていない可能性があります。 IC カードが正しくセットされていることを確認してください。IC カードをIC カードリーダーから一度抜いて、もう一度セットしてください。セットし直してもランプが点滅しない場合には、一度 USB ポートに IC カードリーダーを挿し直してから状態を確認してください。それでも、点灯しない場合は、IC カードリーダーのドライバソフトの更新をしてください。
ドライバソフトのインストール状態	IC カードリーダーが認識されていない (セーフティパスへの接続を開始したときに、IC カードリーダーのドライバソフトが正しく動作していない可能性があるため、表示される)	IC カードリーダーが正しく認識されていることを、次の方法で確認してください。 [コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックして、[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。 コンピュータの下に、次の表示があることを確認してください。  * 上図の[USB SmartCard Reader]は、[External SmartCard Reader]と表示される場合があります。 (デバイスマネージャの“スマートカード読み取り装置”下に“SCR331/3310-NTTCom USB SmartCard Reader”が表示されます。)
	デバイスマネージャのIC カードリーダーの表示がない場合	上記のように表示が確認できない場合には、IC カードリーダーがパソコンに正しく接続されていないか、IC カードリーダーのドライバソフトがインストールされていない可能性があります。 IC カードリーダーが正しく接続されていなかった場合には、正しく挿し直してパソコンを再起動してください。それでも、上の状態で表示されない場合は、IC カードリーダーのドライバソフトのインストールを行ってください。(または更新を行ってください。)
	デバイスマネージャのIC カードリーダーの表示が異常の場合	“SCR331/3310-NTTCom USB SmartCard Reader”の頭に黄色い！マークが表示されている場合には、ドライバを正しく設定できていません。IC カードリーダーのドライバソフトの更新をしてください。

■ セーフティパスへの接続時のトラブル

症状	原因と対処
<p>セキュア通信 開始時</p> <p>「結果コード100 こちらはセーフティパス会員 以外の方がセーフティパスへ ログインされようとした時に表 示されるページです。」 と表示される。</p>	<p>表示された「結果コード100～」ページ中の「インストールが終了したにもか かわらず、この画面が表示された時はこちら」を押下するか、以下の URL(※)に アクセスして、対処ガイドをご確認の上、再度設定を行なってください。</p> <p>※http://www.safety-pass.com/support/confirm.html</p> <p>これまで使えていたが、インターネット接続環境を変更したために、結果コード 100になることがあります。その場合は、P.5-6 を参照ください。</p>
<p>「サーバーへの接続要求が失 敗しました。」または「プロキシ サーバーとの接続が確立でき ません。」と表示される</p>	<p>ファイアウォールソフト製品の設定ができていない可能性があります。以下の URL(※)を参照して、ファイアウォールソフト製品の設定を行ってください。</p> <p>※http://www.safety-pass.com/support/firewall.html</p>
<p>「サーバー証明書が不正で す。」と表示される</p>	<p>Internet Explorer の[ツール]→[インターネットオプション]から[詳細設定]タブを選 択し、セキュリティ項目の「SSL 3.0を使用する」または「TLS 1.0を使用する」にチ ェックが入っているかどうかを確認してください。チェックが外れている場合には、 チェックを入れてから、接続操作をやり直してください。</p>
<p>パスワード入力画面が出ない</p>	<p>[セキュア通信の開始]操作を行ってもパスワード入力画面が出ない場合、下記 をご確認ください。セーフティパスとの通信を開始できない環境である可能性 があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット接続ができる状態である必要があります。インターネット接 続を行った後、アクセスしてください。 ・ プロキシサーバーの設定をご確認ください。パソコンのプロキシの設定と、本 ソフトの IC カード認証サービス接続設定の設定が一致している必要があります。 「5.1 IC カード認証サービス接続設定(自動設定)」、「5.2 IC カ ード認証サービス接続設定(手動設定)」をご確認ください。
<p>「IC カードが IC カードリーダ ーにセットされていません。」と 表示される</p>	<p>IC カードリーダに、NTT コミュニケーションズカード(IC カード)がセットされて いることを確認してください。カードをセットしたら、[OK]ボタンを押して接続を 続けることができます。中止する場合は、[キャンセル]ボタンを押してください。</p> <p>NTT コミュニケーションズの USB 版 IC カードリーダをご使用の場合、IC カ ードをセットした状態で、ランプが正しく点滅していることを確認してください。 (IC カードをセットし直しても状態が変わらない場合は、一度 USB ポートに IC カードリーダを挿し直した後に、IC カードをセットした状態で、ランプが正しく 点滅することを確認してください。)</p>
<p>Windows7 をご利用の場 合、IC カードを挿入したとき に「デバイスドライバソフト ウェアは正しくインストール されませんでした。」と表示さ れる</p>	<p>IC カードを挿入したときに、タスクトレイに次のメッセージが表示されても、セ ーフティパスへの接続には問題ありません。 メッセージを表示しないようにするためには、インストールフォルダにある ToolScnP.exe(スマートカードデバイス検出無効化ツール)をダブルクリックで 実行し、画面に従い、設定を行ってください。</p> 

症状	原因と対処
セキュア通信 開始時	パソコンに IC カードリーダーが正しく接続されていません。IC カードリーダーを接続し直して、試してください。
「IC カードリーダーのドライバが正しく動作していない可能性があります。」と表示される	<p>IC カードが逆にセットされている場合や、セットされている IC カードが NTT コミュニケーションズカードではない場合にも表示されます。まずは IC カードを一度セットし直して、試してください。状態が変わらない場合には、一度 USB ポートに IC カードリーダーを挿し直して試してください。</p> <p>NTT コミュニケーションズの USB 版 IC カードリーダーの場合には、[コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックして、[デバイスマネージャ]のコンピュータの下に、次の表示があることを確認してください。</p> <p style="text-align: center;">Smart Card Reader SCR331-NTTCom USB SmartCard Reader (または SCR3310-NTTCom USB SmartCard Reader)</p> <p>“SCR331/3310-NTTCom USB SmartCard Reader”の頭に黄色いマークが表示されているときには、ドライバを正しく設定できていません。USB ポートに IC カードリーダーを挿し直しても状態が変わらない場合には、ドライバを更新、あるいは再インストールしてください。 (デバイスマネージャの “スマートカード読み取り装置” 下に “SCR331/3310-NTTCom USB SmartCard Reader” が表示されます。)</p>
「IC カードリーダーにセットされているカードは、認証用のカードではありません。」と表示される	IC カードリーダーにセットされているカードは、NTT コミュニケーションズカードではないか、IC カードに異常がある可能性があります。NTT コミュニケーションズカードを正しくセットし直した後、[OK]ボタンを押して接続を続けることができます。中止する場合は、[キャンセル]ボタンを押してください。NTT コミュニケーションズカードを正しくセットしても問題が解決しない場合には、本サービスの対応窓口へご確認ください。
「IC カードセットのタイムアウトのため、IC カード認証への接続を中止しました。」と表示される	「IC カードをセットしてください」の画面が表示されて2分経過すると、接続は中止されます。接続操作をやり直してください。
「パスワード入力のタイムアウトのため、IC カード認証による接続を中止しました。」と表示される	パスワード入力画面が表示されて、12分経過すると、接続は中止されます。接続操作をやり直してください。
IC カード認証による接続ができないため、セキュア通信が確立できませんでした。」または「サーバーへの接続要求が失敗しました」、「サーバーへの接続がリセットされました。」と表示される	ネットワークの混雑などでサーバーとの通信を確立できなかった場合に、表示されることがあります。数秒待ってから、セーフティパスへの接続操作を行ってください。

症状		原因と対処
セキュア通信 開始時	「IC カード認証による接続ができませんでした。お客様の認証ができませんでした。」と表示される	入力されたパスワードでは、お客様を確認できなかった場合に 표시됩니다。IC カードに対応したパスワードをご確認の上、もう一度お試しください。パスワードを入力する場合には、大文字・小文字を間違えないように、ご注意ください。間違ったパスワードで一定回数繰り返した場合には、IC カードに対応したパスワードが無効となりますので、ご注意ください。
	「ご利用の ID では、IC カード認証に使用できません。サポートセンターへお問い合わせください。」と表示される	IC カードリーダーにセットされている IC カードは、現在使用できません。パスワードを続けて間違えた場合は、IC カードに対応したパスワードが無効となって、このメッセージが表示されます。ご注意ください。 紛失届けなどで無効とされた IC カードでも、このように表示されます。
	「IC カードの有効期限切れのため、IC カード認証による接続を中止しました。IC カードの有効期限をご確認の上、もう一度、ブラウザ操作からやり直してください。」と表示される	お使いの IC カードの有効期限をご確認ください。有効期限が切れている場合には、本サービスの対応窓口へご確認ください。
	「サーバーの認証ができませんでした。」と表示される	続けて同じメッセージが表示される場合には、本サービスの対応窓口へご確認ください。
	「IC カードは他のアプリケーションが使用中です。」と表示される	IC カードを使用する他のアプリケーションを起動していないか、確認してください。他のアプリケーションが起動している場合には終了して、もう一度ブラウザ操作から行ってください。
	パスワード入力画面が表示されるまでに時間がかかる	セキュア通信の確立を中止した直後や、セキュア通信を切断した直後は、次の接続までに少し時間が必要のため、パスワード入力画面が表示されないことがあります。少し時間をおいて、接続操作をやり直してください。
	結果コード 100 のページが表示される	プロキシサーバーの設定をご確認ください。P.5-11 の表を参照して、ブラウザのプロキシの設定と、本ソフトのプロキシ設定が正しく設定されているかどうかをご確認ください。
	インターネット接続ができない	プロキシサーバーの設定をご確認ください。P.5-11 の表を参照して、ブラウザのプロキシの設定と、本ソフトのプロキシ設定が正しく設定されているかどうかをご確認ください。

■ セキュア通信が切断された場合のトラブル

症状		原因と対処
セキュア通信の 切断	セキュア通信が自動的に終了していた	セーフティパスへ一定時間アクセスが発生しなかった場合には、安全のためセキュア通信は切断されます。
	「5 分後に切断されます」と表示される	セキュア通信を 24 時間継続すると、一度接続を終了します。5 分前に終了をお知らせするメッセージが表示されます。
	「カードを確認できなかったために、このセキュア通信を切断しました。セキュア通信を継続される場合は、ブラウザ操作からやり直してください。」と表示される	IC カードリーダーから NTT コミュニケーションズカードを抜いてしまうとセキュア通信は切断されます。NTT コミュニケーションズカードをセット後もう一度接続してください。 NTT コミュニケーションズカードを正しくセットしても問題が解決しない場合には、本サービスの対応窓口へご確認ください。

ソフトウェアのアップデートのトラブル

症状		原因と対処
手動アップデート	「IC カード認証サービス利用ソフト for PC のアップデートを実施するには、管理者権限が必要です。」と表示される	最新版の IC カード認証サービス利用ソフト for PC へのアップデートを実施しようとしたが、管理者権限がないため実施できませんでした。画面の文言に従って、管理者権限のあるユーザーでログイン後、再度「ソフトウェアのアップデート」を実施してください。